



SERENA® CHANGEMAN® VERSION MANAGER™
入門ガイド

Copyright © 1985-2005 Merant, Inc. All rights reserved.

本ドキュメント、および本ドキュメントに記載のソフトウェアは、ライセンス供与に従って供給されており、かかるライセンスの条件に基づいて使用および複製が許可されます。ライセンスで許可されていない限り、本書のいかなる部分も、Merant の文書による事前許可なく、いかなる形式または電子的、機械的記録方法で、複製、保存システムへの保管、転送することはできません。複製されたドキュメントには、全部または一部であるかにかかわらず、この著作権の記述すべてが、変更されることなく含まれていなければなりません。

本書の内容は、情報を提供するものであり、予告なく変更される場合があります。また、Merant による義務と解釈されるものではありません。Merant は、本書のエラーまたは不正確性についていかなる責任も義務も負うことはありません。

商標

Serena、ChangeMan、TeamTrack、Collage、PVCS、StarTool および Comparex は、Serena Software, Inc. の登録商標です。Build、Builder、Dimensions、Meritage、Mover、Professional、SAFE、RTM、Tracker および Version Manager は、Serena Software, Inc. の商標です。

その他のすべての製品または企業名は、識別する目的でのみ使用されており、それぞれの所有者の商標である場合があります。

米国政府の権利

米国政府や政府機関またはその代理機関の非許諾者がこの契約の下で取得したいかなるソフトウェア製品も、FAR では「商用ソフトウェア」と定義されています。米国政府による使用、複製、公開は、ソフトウェアを取得したライセンスによる制限の対象となります。製造元：Merant, Inc., 3445 NW 211th Terrace, Hillsboro, Oregon 97124

部品番号：MA-VMGTS-J02

発行日：2005 年 4 月

目次

Version Manager へようこそ	7
Version Manager の操作方法	7
デスクトップクライアント	8
プロジェクトコマンドラインインターフェイス (PCLI)	8
コマンドラインインターフェイス	9
Web クライアント	9
WebDAV Server	9
IDE クライアント	9
Developer's Toolkit	10
Serena Collage Integration	10
Version Manager コンポーネントの選択	10
Version Manager ドキュメントの概要	11
Version Manager のマニュアル	11
オンラインマニュアルの使用法	13
オンラインヘルプの参照	14
表記上の規則	15
技術サポートへのお問い合わせ	16
Version Manager デスクト ップクライアントの基本操作	17
Version Manager の起動	18
デスクトップクライアントの起動	18
Version Manager のデスクトップ	22
ツールバー	22
ステータスバー	24
標準メニューとコンテキストメニュー	25
ヘッダバー	26
プロジェクト表示部	27
ファイル表示部	29
リビジョン表示部	31
フィルタ	35
ソート	37
ショートカットキー	38
ダイアログボックスの無効化	40

第1章

オンラインヘルプの使用方法	40
ヘルプへのアクセス.....	40
ヘルプのウィンドウ.....	41
ヘルプトピックの印刷.....	44
第2章 Version Manager の使用法	45
デスクトップクライアントでの作業	46
サンプルプロジェクトデータベースとシナリオについて.....	46
デフォルト設定の使用法.....	47
[Results (結果)] ダイアログボックスの自動消去.....	48
プロジェクトデータベース.....	48
サブプロジェクト	49
ワークスペース	50
作業ファイルの追加.....	51
ファイルの取得と表示.....	52
プロジェクトとバージョン管理ファイルの移動.....	53
プロジェクトとファイルのコピー.....	53
Merge Tool	54
アーカイブの配置	54
プロジェクト情報の格納場所.....	54
デスクトップクライアントにおけるユーザのワークフロー.....	55
プロジェクトデータベースのオープン.....	56
ワークスペースの設定.....	59
作業ファイルの追加.....	62
リビジョンの取得と表示.....	66
リビジョンのチェックアウトと編集.....	70
作業ファイルのチェックイン.....	72
コマンドラインインターフェイスの作業	76
サンプルプロジェクトファイルとシナリオについて.....	76
コマンドラインインターフェイス	
におけるユーザのワークフロー.....	77
「vcs.cfg」ファイルの作成.....	78
作業ファイルの追加.....	80
リビジョンのチェックアウト.....	82
リビジョンのチェックイン.....	83
第3章 Version Manager の活用	85
はじめに.....	86
デスクトップクライアントの使用法	86
プロパティの参照	86
ダイアログボックスの無効化.....	87

リビジョン表示部での更新履歴の表示	87
ワークスペースを使用したドライブの変更	88
サブプロジェクトの使用によるファイルの整理	89
アーカイブの場所の定義	90
複数プロジェクトの選択	91
Version Manager 5.3/6.0 での作業	
プロジェクトルート	91
コマンドラインインターフェイスの使用	92
プロジェクトコマンドラインインターフェイス (PCLI) の使用	92
ワークスペースのパス	93
直接実行とバッチ実行	93
PCLI でのコマンドラインインターフェイスの使用	93
Version Manager IDE クライアントの使用	93
Version Manager における IDE	
クライアントプロジェクトの作業	94
開発アプリケーションでの作業	94
Version Manager Web クライアントの使用	95
WebDAV Server の使用	95
Meritage の使用	96
索引	97

Version Manager へようこそ

Serena ChangeMan Version Manager をお買い上げいただきありがとうございます。このソフトウェアは、ソフトウェアの開発手法に革命的な変化をもたらす、多機能で強力なバージョン管理システムです。Version Manager では、個々のファイルへの変更の保存や追跡から開発サイクル全体の管理や監視に至るまで、ソフトウェア開発プロジェクトの各段階の構成管理および保守管理を行うことができます。

このマニュアルの概要

このマニュアルでは、Version Manager の基本的な使用方法と Version Manager の概念を説明しています。基本的な作業も実習できるようになっています。

対応バージョン

このマニュアルの内容は、Serena ChangeMan Version Manager バージョン 8.1 以降を対象としています。この版によって、このマニュアルの旧版は廃版となります。

Version Manager の操作方法

Version Manager をインストールする際は、使用する環境に合わせて、Version Manager コンポーネントをさまざまに組み合わせることができます。また、TeamTrack や Configuration Builder などのほかの Professional 製品や特定の開発ツールと統合することもできます。

Version Manager のコンポーネントは以下のとおりです。

- デスクトップクライアント
- プロジェクトコマンドラインインターフェイス (PCLI)
- コマンドラインインターフェイス
- Web クライアント
- WebDAV Server
- IDE クライアント
- Developer's Toolkit
- Serena Collage Integration

デスクトップクライアント

デスクトップクライアントは、もっとも多くの機能を提供するコンポーネントで、以前よりいっそう直感的で使いやすくなっています。デスクトップクライアントは、コマンドラインインターフェイスより多くの権限と優れたセキュリティを提供します。

デスクトップクライアントは、Version Manager の新規ユーザ、既存ユーザ、およびシステム管理者に適しています。デスクトップクライアントを使用して、ファイルのチェックインやチェックアウトなどのエンドユーザ機能を実行できます。また、プロジェクトデータベースの作成、構成、保守およびセキュリティの設定などの管理機能も実行できます。詳細は、『Serena ChangeMan Version Manager 入門ガイド』、『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』、『Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド』を参照してください。

プロジェクトコマンドラインインターフェイス (PCLI)

Version Manager では、プロジェクトコマンドラインインターフェイス (PCLI) により、プロジェクトデータベースおよびプロジェクトに関する作業を、コマンドラインを使用して実行することもできます。以下は実行できる作業の例です。

- プロジェクトデータベースおよびプロジェクトの作成
- 作業ファイルの場所、アーカイブの場所、コンフィグレーションファイルの設定
- 現在の作業ファイルの場所、アーカイブの場所、コンフィグレーションファイルの名前と場所の取得
- プロジェクトデータベース、バージョン管理ファイル、および異なるエンティティの一覧表示
- プロジェクトへの作業ファイルの追加
- プロジェクトへのアーカイブのインポート

PCLI を使用する PCLI スクリプトを作成して、Version Manager アーカイブへの自動アクセスを行うことができます。詳細は『Serena ChangeMan Version Manager PCLI ユーザガイド & リファレンス』を参照してください。

コマンドラインインターフェイス

コマンドラインインターフェイス（CLI）は、Version Manager アーカイブでアクションを実行するために使用する一連のコマンドで構成されています。コマンドラインインターフェイスは、アーカイブがコマンドラインインターフェイスを使って作成され、保守されている環境でのみ作業を行うユーザに適しています。詳細は『Serena ChangeMan Version Manager コマンドラインリファレンスガイド』を参照してください。

Web クライアント

Version Manager Web クライアントは、Web ブラウザベースの Version Manager コンポーネントです。これにより、インターネットやイントラネットを介して Version Manager プロジェクトにアクセスできます。Version Manager Web クライアントはリモートやモバイル環境からのプロジェクトへのアクセスが必要な環境や、クライアント / サーバアーキテクチャを使用した環境に適しています。

Version Manager Web クライアントは Version Manager 機能のサブセットで、管理機能を必要としないユーザ用に設計されています。ユーザが Web ブラウザで Version Manager プロジェクトに接続できるようにするには、デスクトップクライアントを使用して、そのプロジェクトを作成および設定する必要があります。詳細は、このマニュアル、および『Serena ChangeMan Version Manager Web クライアントユーザガイド』を参照してください。

WebDAV Server

Version Manager WebDAV Server は WebDAV プロトコルを実装し、同時にプロトコルを拡張して WebDAV クライアントからの自動バージョン管理を可能にします。WebDAV Server は WebDAV クライアントを変更しなくても動作します。クライアントが WebDAV に対応していれば、そのクライアントは Version Manager WebDAV Server で使用できます。詳細は『Serena ChangeMan Version Manager WebDAV Server 操作ガイド』を参照してください。

IDE クライアント

Version Manager IDE クライアントにより、さまざまな統合開発環境（IDE）からの Version Manager プロジェクトへのアクセスが可能になります。この IDE クライアントの使用により、ファイルのアーカイブへのチェックインやアーカイブからのチェックアウト、バージョンラベルの割り当て、レポートの生成などの Version Manager 機能を、開発用アプリケーションを終了することなく実行することができます。

Version Manager IDE クライアントは、Microsoft Visual C++、Microsoft Visual Basic、Sybase PowerBuilder、Allaire ColdFusion Studio および Microsoft FrontPage など多くの主要な開発環境と併用することができます。サポートされる機能は、各 IDE ごとに異なります。各 IDE で使用できる機能については、『Serena ChangeMan Version Manager IDE クライアント操作ガイド』を参照してください。

Developer's Toolkit

Developer's Toolkit (DTK) は、カスタムアプリケーションに、Version Manager および Configuration Builder を統合するための開発用アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) です。この DTK を使用して、Version Manager 機能のほとんどを使用することができます。詳細は『Merant Developer's Toolkit リファレンスガイド』を参照してください。

Serena Collage Integration

Version Manager とあわせて SerenaCollage 統合とを使用することで、Web アプリケーション開発チームはファイルの管理と公開を自動化できます。Version Manager に Collage を組み合わせてファイルの公開を管理すれば、Web アプリケーションのファイルを手作業で抽出して Web サーバに転送する作業に煩わされることはもうありません。Version Manager と Collage がすべての作業を代行してくれます。詳細は『Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド』の『Collage との統合』を参照してください。

Version Manager コンポーネントの選択

Version Manager の機能は、各コンポーネントをさまざまに組み合わせて利用することができます。デスクトップクライアントのみが必要な組織もあれば、すべてのコンポーネントの使用が有効な組織もあるでしょう。Version Manager は、リモートでの作業、スクリプトによる処理の自動化、開発環境内からのソース管理の実行など、あらゆる必要性に対応するための機能を備えています。

次の表は、組織内のさまざまなユーザのニーズに合った Version Manager コンポーネントの選択を示しています。

ユーザ	デスク トップク ライアン ト	Web ク ライアン ト	Dev. Int.	PCLI/ CLI	DTK
ローカルユーザ	○			○	
リモートユーザ		○			
IDE ユーザ			○		
管理者	○			○	
アプリケーション 開発者			○	○	○

Version Manager ドキュメントの概要

以下は、Version Manager のドキュメントについての基本的な情報です。

Version Manager のマニュアル

Version Manager には、次のオンラインマニュアルが付属しています。

マニュアル	説明されている内容
インストールガイド	Version Manager のインストール方法と設定方法。
入門ガイド	Version Manager の起動方法、Version Manager の概念、および基本的なタスクの実行方法。
ユーザガイド	Version Manager デスクトップクライアントを使用。このマニュアルでは、Version Manager の基本タスクおよび高度なタスクの概念と、デスクトップクライアントを使用してタスクを実行する方法を説明します。

マニュアル	説明されている内容
管理者ガイド	デスクトップクライアントまたはコマンドラインインターフェイスを使って、Version Manager プロジェクトとアーカイブを設定、管理、および保守する方法。
PCLI ユーザガイド & リファレンス	Version Manager プロジェクトに対し、コマンドラインによる操作を実行するためのプロジェクトコマンドラインインターフェイス (PCLI) の使用方法。PCLI の使用方法が説明され、各 PCLI コマンドがアルファベット順に記載されています。
コマンドラインリファレンスガイド	コマンドラインインターフェイスを使って Version Manager の機能を実行する方法。このマニュアルは、コマンドラインインターフェイスから利用できるコマンド、ディレクティブ、および権限について、包括的な情報を提供します。
コマンドラインクイックリファレンスガイド	コマンドラインインターフェイスを使って Version Manager の機能を実行する方法。このマニュアルは、コマンドラインインターフェイスから利用できるよく使用するコマンド、ディレクティブ、および権限について、基本的な情報を提供します。
Version Manager Web クライアントユーザガイド	Version Manager Web クライアントインターフェイスを使用して、リモートでバージョン管理機能を実行する方法を説明しています。
Version Manager WebDAV Server 操作ガイド	Macromedia Dreamweaver、Microsoft Web Folders、Photoshop、Adobe Acrobat などの WebDAV 準拠クライアントのセットアップ方法と使用方法。ファイルのバージョン管理を自動化します。
Version Manager IDE クライアント操作ガイド	Version Manager IDE クライアントのセットアップ方法と使用方法。サポートされている統合開発環境 (IDE) 内でバージョン管理機能を実行します。

マニュアル	説明されている内容
Serena ChangeMan Developer's Toolkit リファレンスガイド	Version Manger の API を使って、Version Manager および Serena Configuration Builder の機能をカスタムアプリケーションに統合する方法を説明しています。
Serena ChangeMan Builder for Professional ユーザガイド	Openmake ビルド管理システムを Version Manager に統合する方法を説明しています。

オンラインマニュアルの使用方法

Serena のオンラインマニュアルは、Adobe Portable Document Format (PDF) を使用します。PDF ファイルを表示するには、www.adobe.com から無料で入手可能な Adobe® Reader® を使用してください。



ヒント フルバージョンの Reader をダウンロードします。ベーシックバージョンには、検索機能が含まれていません。

このセクションでは、Reader の主な機能のいくつかを説明します。詳細は、Adobe Reader のオンラインヘルプシステムを参照してください。

オンラインマニュアルには、以下の機能が含まれています。

- **しおり**。すべてのオンラインマニュアルにはしおりが設定されており、これを使って特定のトピックにすばやく簡単にジャンプすることができます。デフォルトでは、各オンラインマニュアル画面の左側にしおりが表示されます。
- **リンク**。オンラインマニュアル内の相互参照リンクによって、マウスをクリックするだけで、そのマニュアルのほかのセクションやほかのマニュアルにジャンプすることができます。これらのリンクは青色で表示されます。
- **印刷**。マニュアルを表示しているときに、現在のページ、複数ページ、マニュアル全体を印刷できます。
- **高度な検索**。Adobe Reader のバージョン 6 から、指定したディレクトリ内の複数の PDF ファイルを検索できる、高度な検索機能が含まれるようになりました。（これは、Adobe Catalog によって作成される検索インデックスの使用に追加されました。以下の手順 3 を参照してください。）

複数の PDF 文書を一度に検索するには、次の手順を実行します (Adobe Reader バージョン 6 以降が必要です)。

- 1 Adobe Reader で、[Edit (編集)] - [Search (検索)] を選択します (または CTRL+F を押します)。
- 2 テキストボックスに、検索する言葉や文章を入力します。
- 3 <All PDF Documents in (すべての PDF 文書)> オプションを選択し、検索するフォルダを参照して選択します。(Adobe Catalog インデックスが添付された文書を開いている場合は、<In the index named... (インデックス内を検索)> オプションを選択したままにし、インデックスのすべてのマニュアルを検索することができます。)
- 4 オプションで、<Whole words only (完全に一致する語のみ)> や <Case-Sensitive (大文字と小文字を区別)> などの追加検索オプションを 1 つ以上選択します。
- 5 【Search (検索)】 ボタンをクリックします。



注記 オプションで、アプリケーションウィンドウの右下隅近くにある <Use Advanced Search Options (高度な検索オプションを使用)> リンクをクリックして、より強力な追加検索オプションを有効にすることもできます。(このリンクが <Use Basic Search Options (基本的な検索オプションを使用)> である場合は、高度なオプションがすでに有効になっています。) 詳細は、Adobe Reader のオンラインヘルプを参照してください。

オンラインヘルプの参照

オンラインヘルプは、Version Manager デスクトップクライアント、Web クライアント、コマンドラインインターフェイス、プロジェクトコマンドラインインターフェイス、IDE クライアントのそれぞれで使用できます。


- **Version Manager デスクトップクライアント** : [Help (ヘルプ)] - [Help Topics (トピックの検索)] を選択すると、オンラインヘルプが表示されます。または、各ダイアログボックスで【Help (ヘルプ)】をクリックするか、ヘルプの必要なフィールドにカーソルを置いて F1 を押すと、コンテキストヘルプが表示されます。ヘルプシステムには、Version Manager デスクトップクライアントの使用方法に関する手順と説明が含まれています。
- **コマンドラインインターフェイス** : `command -h` と入力すると、オンラインヘルプが表示されます。このヘルプシステムには、コマンドラインのオプションに関する情報が含まれています。

- **プロジェクトコマンドラインインターフェイス (PCLI)** : `pcli command -h` または `pcli -h` と入力すると、オンラインヘルプが表示されます。このヘルプシステムには、コマンドのオプションに関する情報が含まれています。
- **Version Manager Web クライアント** : [Help (ヘルプ)] タブで、[Help Topics (ヘルプトピック)] をクリックします。または、ダイアログボックスやページ上の【Help (ヘルプ)】ボタンをクリックすると、実行中の作業についてのオンラインヘルプが表示されます。ヘルプシステムでは、Version Manager Web クライアントの使用手順や概念が説明されています。
- **Version Manager IDE クライアント** : IDE クライアントのオンラインヘルプを表示させるには、[スタート] メニューの [Serena ChangeMan Version Manager] プログラムグループから [Serena ChangeMan Version Manager IDE Client (Serena ChangeMan Version Manager IDE クライアント)] - [Serena ChangeMan Version Manager IDE Client Help (Serena ChangeMan Version Manager IDE クライアントヘルプ)] を選択します。また、ダイアログボックスで【Help (ヘルプ)】をクリックするか、F1 キーを押すと、現在使用している機能についてのヘルプが表示されます。このヘルプシステムでは、IDE クライアントの使用に関する手順や概念が説明されています。このヘルプシステムには、IDE クライアントの使用に関する手順および概念的情報が含まれています。

表記上の規則

オンラインマニュアルおよびオンラインヘルプでは、以下の表記規則を採用しています。ドキュメントを参照する場合は、これらの表記規則を参考にしてください。ただし、各種製品コンポーネントおよびオペレーティングシステムについては、それぞれの表記規則に従ってください。

表記例	意味
等幅フォント	構文例、ユーザ指定が可能な値、システムから返される結果値などを表します。
斜体の等幅フォント	指定する値のプレースホルダの名前を示します (例 : <i>filename</i>)。
太字の等幅フォント	実行したコマンドの結果を示します。

表記例	意味
ダッシュ (ー)	メニューとそれに関連付けられたコマンドを区切ります。たとえば、[File (ファイル)] – [Copy (コピー)] は、[File (ファイル)] メニューの [Copy (コピー)] を選択することを意味します。 また、縦棒 () は、コマンド構文でどちらか一方を選択する必要がある値を示します。
角かっこ []	オプションの項目を示します。たとえば、次の文 SELECT [DISTINCT] の DISTINCT は、オプションのキーワードです。
...	複数の値を指定できるコマンド引数を示します。
	クリックするショートカットアイコンを示します。ショートカットアイコンは余白に配置されます。

技術サポートへのお問い合わせ

ユーザ登録が完了すると、<http://support.serena.com/> にログインできます。

第 1 章

Version Manager デスクトップクライアントの基本操作

Version Manager の起動	18
Version Manager のデスクトップ	22
オンラインヘルプの使用方法	40

Version Manager の起動

Serena ChangeMan Version Manager はインストールしてすぐに、使用を開始することができます。インストールプログラムは、ご使用のプラットフォームに合わせて自動的にワークステーションを設定します。

デスクトップクライアントの起動

Version Manager を最初に起動すると、[Welcome to Serena ChangeMan Version Manager (Serena ChangeMan Version Manager へようこそ)] ダイアログボックスが表示され、ここで次のオプションを選択できます。

- 新規プロジェクトデータベースを作成する（権限が与えられている場合のみ）。
- サンプルプロジェクトデータベースを開く。
- Version Manager で最後に開いたプロジェクトデータベースを開く。

Version Manager の次の起動時には、[Welcome to Serena ChangeMan Version Manager (Serena ChangeMan Version Manager へようこそ)] ダイアログボックスで、最後に開いたプロジェクトデータベースを開くためのオプションを選択することができます。

また、<Don't show this dialog again (次回からこのダイアログを表示しない)> チェックボックスを選択すると、次に Version Manager を起動したときに [Welcome to Serena ChangeMan Version Manager (Serena ChangeMan Version Manager へようこそ)] ダイアログボックスが表示されなくなります。

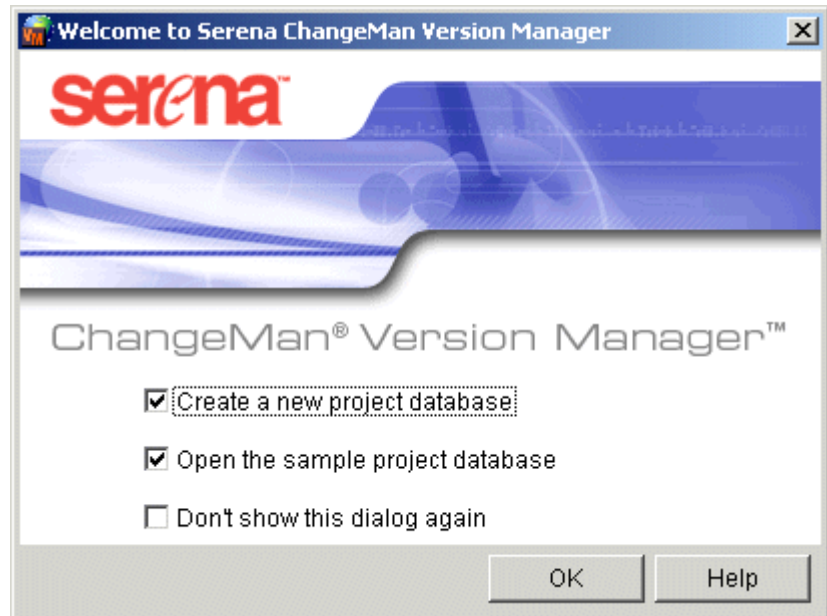
デスクトップクライアントを起動するには

1 次のいずれかの操作を行います。

- **Windows 版** : [スタート] メニューから [プログラム] – [Serena] – [Serena ChangeMan Version Manager X.X.X] – [Serena ChangeMan Version Manager] を選択します。
- **UNIX 版** : /usr/serena/vm/<os>/bin ディレクトリに移動して、pvcsvmux を実行します。

pvcsvmux で -d オプションを使用すると、デバッグ情報が画面に表示されます。

Version Manager が起動して、次のような [Welcome to Serena ChangeMan Version Manager (Serena ChangeMan Version Manager へようこそ)] ダイアログボックスが開きます。

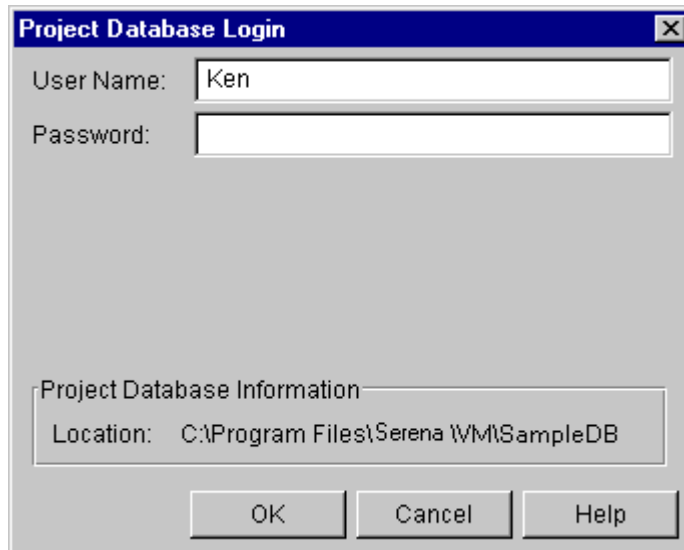


- 2 <Open the sample project database (サンプルプロジェクトデータベースを開く)> チェックボックスが選択されていることを確認します。

オプションで、新規プロジェクトデータベースを作成するには、<Create a new project database (新規プロジェクトデータベースを作成する)> チェックボックスを選択します。Version Manager は、デフォルトの設定値を使ってプロジェクトデータベースを作成します。これに作業ファイルを追加して、Version Manager をすぐに使い始めることができます。または、新規プロジェクトデータベースをサンプルプロジェクトデータベースとともに使用して、Version Manager の手順を練習することもできます。ただし、管理者により、新規プロジェクトデータベースを作成する権限が与えられていない場合もあります。

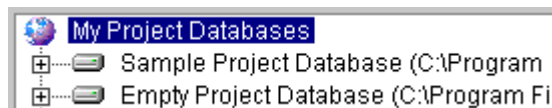
- 3 【OK】をクリックします。

〔Login (ログイン)〕 ダイアログボックスが表示されます。

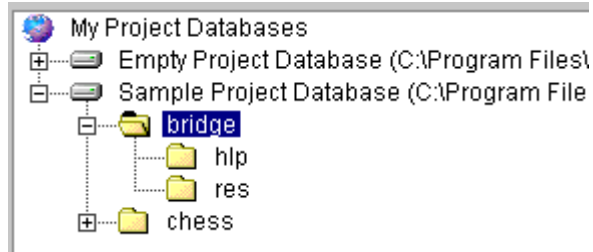


- 4 <User Name (ユーザ名)> に Admin と入力し、パスワードを空白のままにして【OK】をクリックし、サンプルプロジェクトデータベースにログインします。

手順 2 で選択したオプションに従ってプロジェクトデータベースが開かれ、次のように表示されます。



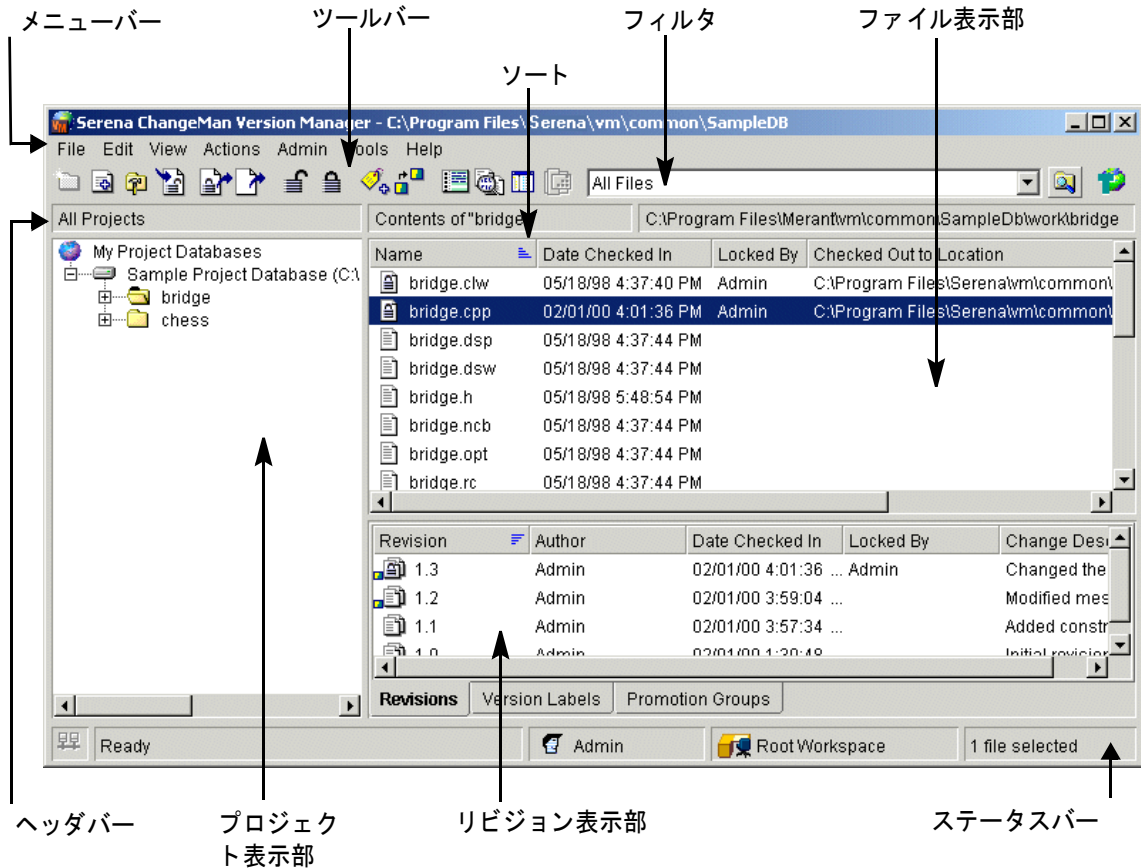
- 5 次のいずれかを行って、サンプルプロジェクトデータベースの内容を展開します。
- + をクリックします。
- または
- プロジェクトデータベースを選択して、右矢印キーを押します。



サンプルプロジェクトデータベースにはサンプルファイルが含まれており、これを使ってセクション、[22 ページの「Version Manager のデスクトップ」](#)での作業を行うことができます。

Version Manager のデスクトップ

Version Manager を起動して、サンプルプロジェクトデータベースを開いたら、サンプルファイルを使ってデスクトップの機能を試すことができます。このセクションでは、デスクトップの主要な機能について説明します。




















ツールバー

ツールバーには、チェックイン、チェックアウト、ロック、およびロック解除などの、一般的に使用される機能を実行するためのショートカットボタン（アイコン）が用意されています。管理者は、ほかのアプリケーションを起動するアイコンをツールバーに追加できます。ツールバーの情報は、ツールバーコンフィグレーションファイルに格納され、管理者はこれをプロジェクトデータベースと関

連づけます。ツールバーコンフィグレーションファイルをプロジェクトデータベースと関連づけると、そのプロジェクトデータベースが開かれたり、選択されたときに、そのツールバーが自動的にロードされます。詳細は、『Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド』の『カスタムツールの追加』を参照してください。

デフォルトのツールバーには次のアイコンが含まれています。

アイコン	用途
	新規プロジェクトの作成。
	プロジェクトまたはプロジェクトデータベースへの作業ファイルの追加。
	現在選択されているアイテムの作業ファイルの場所の設定。
	作業ファイルのチェックイン。
	リビジョンのチェックアウト。
	リビジョンの取得。
	リビジョンのロック解除。
	リビジョンのロック。
	バージョンラベルの割り当て。
	次のプロモーショングループへのプロモート。
	履歴の表示。
	相違点の表示。
	リビジョン表示部の表示または非表示。




アイコン	用途
	Serena Tracker の起動。
	選択されたプロジェクトまたはプロジェクトデータベース内に含まれるバージョン管理ファイル、プロジェクト、およびサブプロジェクトが、ファイル表示部に表示されていることを示します。
	選択されたプロジェクト、サブプロジェクト、またはプロジェクトデータベース内のバージョン管理ファイルのみが、ファイル表示部に表示されていることを示します。
	Serena ChangeMan Builder の起動。


ステータスバー

次のステータスバーが、ウィンドウの下部に表示されます。



ステータスバーには次の情報とショートカットが含まれています。

- File Server の状態 – Version Manager File Server の状態を示します（クリックすると最新の表示に更新され、詳細情報が表示されます）。
 -  File Server が設定されていません。
 -  1 つまたは複数の設定済み File Server が応答していません。
 -  すべての設定済み File Server が正しく動作しています。
- システムメッセージ – 「Ready (レディ)」や「Loading... (ロードしています...)」など、Version Manager の現在の状態に関する情報、または「Checking In (チェックイン)」など、現在のアクションに関する情報も表示されます。

- ユーザ ID – 選択されたプロジェクトデータベースにログインしているユーザの名前を表示します。このフィールドをクリックすると、[Switch User (ユーザの変更)] ダイアログボックスが開きます。
-  ■ ワークスペース – 選択されたプロジェクトデータベースに設定されている現在のワークスペースの名前を表示します。ワークスペースには、パブリックとプライベートという 2 つのタイプがあります。パブリックワークスペースは通常、管理者が作成し、デスクのアイコンで表示されます。プライベートワークスペースは通常、プロジェクトチームの各メンバーが作成し、デスクと人物のアイコンで表示されます。このフィールドをクリックすると、[Set Workspace (ワークスペースの設定)] ダイアログボックスが表示されます。
- 選択されているファイルの数 – 選択されているファイルの数を表示します。1 つのプロジェクトを選択すると、そのプロジェクト内のファイルの合計数が表示されます。1 つまたは複数のファイルを選択すると、選択したファイルの合計数が表示されます。

標準メニューとコンテキストメニュー

Version Manager のデスクトップクライアントでは、次の 2 種類のメニューを使用できます。

- 標準メニュー。これはメニューバーから使用できます。
- コンテキストメニュー。これはアイテムを右クリックすると表示されます。

メニューバーの標準メニューからは、すべてのタスクとオンラインヘルプを含む、Version Manager のすべての機能にアクセスできます。

管理者は、メニューバーからアクセスできる [Tools (ツール)] メニューをカスタマイズすることができます。この [Tools (ツール)] メニューからは、プロジェクトデータベース用に管理者が設定したアプリケーションにアクセスできます。管理者がプロジェクトデータベース用のユーザツールを設定していない場合は、[Tools (ツール)] メニューは使用できません。

一般的なタスクへのすばやいアクセス
 コンテキストメニューからは、選択したアイテムに対して一般的に実行されるタスクにアクセスできます。

標準メニュー

Get...	Ctrl+G
Check Out...	Ctrl+O
Check In...	Ctrl+I
Unlock...	
Lock...	
Version Label	▶
Promotion Group	▶
Show History...	Ctrl+H
Show Differences...	Ctrl+D
Show Merge...	Ctrl+M
Show Journal...	Ctrl+J
Delete Revision...	

リビジョンが選択されているときの [Actions (アクション)] メニューの例

コンテキストメニュー

View File...
Edit File...
Get...
Check Out...
Check In...
Unlock...
Lock...
Assign Version Label...
Promote To Next Group...
Show History...
Delete
Properties

リビジョンが選択されているときのコンテキストメニューの例

標準メニューとコンテキストメニューでグレー表示されている機能は、次のいずれかの理由により使用できません。

- その機能が、現在選択されているコマンドでは使用されないため
- その機能の使用が、管理者によって禁止されているため

ヘッダバー

ヘッダバーには次の 3 つの列が含まれます。

- すべてのプロジェクト：プロジェクト表示部を含みます。プロジェクト表示部からは、開かれているプロジェクトデータベース、およびプロジェクトデータベースに含まれるプロジェクトとサブプロジェクトにアクセスできます。

- 内容：プロジェクト表示部で選択したアイテムの内容が表示されます。フィルタを設定すると、このフィールドの名前が〈Filtered Contents of (フィルタされた内容)〉に変わります。
- 作業ファイルの場所：選択されたプロジェクトデータベース、プロジェクト、サブプロジェクト、またはバージョン管理ファイルに対して定義されている作業ファイルの格納場所を表示します。



プロジェクト表示部

プロジェクト表示部は、開かれているプロジェクトデータベース、プロジェクト、およびサブプロジェクトを表示します。

プロジェクトデータベースから設定を継承







プロジェクトデータベースは、名前の付いた、プロジェクト、サブプロジェクト、および、バージョン管理ファイルの階層的な集まりです。プロジェクトデータベースは、コンフィグレーションおよびアクセス制御データベース情報を保存します。これは、データベース内のプロジェクトの操作方法来に影響します。

プロジェクトデータベースは、以下のアイコンで表示されます。

アイコン	示す内容
	開かれているプロジェクトデータベース。プロジェクトデータベースを開くと、プロジェクトデータベースの名前と格納場所がアイコンの隣りに表示されます。Version Manager の以前のリリースを使って作成されたプロジェクトデータベースを開くと、プロジェクトデータベースの格納場所のみが表示されます。
	選択されたプロジェクトデータベース。プロジェクトデータベースを選択すると、プロジェクトデータベース全体の内容に対してアクションを実行できます。

プロジェクトは、バージョン管理ファイルとサブプロジェクトを論理的にグループ化したものです。プロジェクトはプロジェクトデータベースからコンフィグレーションファイルの設定を継承しますが、個々のプロジェクトに対してコン

フィギュレーションファイルの設定を適用することもできます。プロジェクトは次のアイコンで示されます。

アイコン	示す内容
	プロジェクトまたはサブプロジェクト（黄色）。
	コンフィギュレーションファイルを持つプロジェクト（黄色）。このコンフィギュレーションファイルの設定は、プロジェクトデータベースから継承された設定内容より優先されます。
	自分のユーザ ID を含まないアクセスコントロールデータベースを割り当てられたプロジェクト（黄色）。このプロジェクトにアクセスする権限がないことを表します。
	バージョン 5.3 のプロジェクトまたはフォルダ（青色）。
	コンフィギュレーションファイルを持つバージョン 5.3 のプロジェクト（青色）。このコンフィギュレーションファイルの設定は、プロジェクトルートのマスターコンフィギュレーションファイルから継承されたコンフィギュレーション設定より優先して使用されます。
	自分のユーザ ID を含まないアクセスコントロールデータベースを割り当てられたバージョン 5.3 のプロジェクト（青色）。このプロジェクトにアクセスする権限がないことを表します。

プロジェクト表示部では、次の作業を行うことができます。

- プロジェクトデータベース、プロジェクト、およびサブプロジェクトの内容を展開して表示または非表示にします。
- マイプロジェクトデータベースを右クリックすると、コンテキストメニューが表示され、プロジェクトデータベースをすばやく作成したり、開くことができます。
- プロジェクトデータベースまたはプロジェクトを右クリックすると、コンテキストメニューが表示され、よく使用される機能にすばやくアクセスできます。
- プロジェクト表示部の幅または高さを変更します。
- 同じ動作を実行する複数のプロジェクトを選択します。




- プロジェクトをほかのプロジェクトデータベースやプロジェクトにドラッグアンドドロップします。プロジェクトのドラッグアンドドロップによって、プロジェクトデータベース間でプロジェクトをコピーしたり、アーカイブを共有することができます。
 - 同じプロジェクトデータベース内でプロジェクトをドラッグアンドドロップすると、プロジェクトが移動します。
 - 別のプロジェクトデータベースにプロジェクトをドラッグアンドドロップすると、プロジェクトはコピーされます。
 - CTRL キーを押しながら同じプロジェクトデータベース内にプロジェクトをドラッグアンドドロップすると、そのプロジェクトはコピーされます。
- Version Manager 5.3/6.0 のプロジェクトをプロジェクトデータベースにドラッグアンドドロップして、そのプロジェクトをプロジェクトデータベースにコピーします。バージョン 5.3/6.0 のプロジェクトをプロジェクトデータベースにコピーすると、そのプロジェクトは新しい形式にアップグレードされ、Version Manager 5.3/6.0 では使用できなかった機能を利用できるようになります。

ファイル表示部

ファイル表示部では、選択されたプロジェクトデータベース、プロジェクト、またはサブプロジェクト内に含まれるバージョン管理ファイルにアクセスできます。バージョン管理ファイルは、バージョン管理のもとに置かれているファイルです。ファイル表示部には、次のフィールドが表示されます。

フィールド	示す内容
〈Name (名前)〉	バージョン管理ファイルの名前
〈Date Checked In (チェックイン日時)〉	バージョン管理ファイルのリビジョンが、最後にトランクにチェックインされた日時。リビジョンがまったく存在しない場合は、アーカイブが作成された日時が表示されます。
〈Locked By (ロック)〉	アイテムをロックしたユーザ
〈Checked Out to Location (チェックアウト先)〉	リビジョンがロックされてチェックアウトされた場合は、ファイルのチェックアウト先へのパス

ファイルは次のアイコンで示されます。

アイコン	示す内容
	ロックされたリビジョンをまったく含まないバージョン管理ファイル。
	ロックされたリビジョンを含むバージョン管理ファイル。
	そのアーカイブとの関連づけを失ったバージョン管理ファイル。これは、アーカイブの物理的な場所が移動した場合に発生します。アーカイブをインポートすると、関連づけが復旧します。

ファイル表示部では、次の作業を行うことができます。

- 列ヘッダをクリックして、その列を基準にファイルをソートします。
- 列ヘッダの【Sort Order (ソート順)】ボタンをクリックして、ソート順を逆にします。
- ファイルを右クリックすると、コンテキストメニューが表示され、よく使用される機能にすばやくアクセスすることができます。
- ファイルをダブルクリックすると、リビジョンを表示または編集できます。
- ほかのプロジェクトやプロジェクトデータベースにファイルをドラッグアンドドロップできます。現在のプロジェクトデータベース内のほかのプロジェクトにファイルをドラッグアンドドロップすると、ファイルは移動します。別のプロジェクトデータベースにファイルをドラッグアンドドロップすると、ファイルはコピーされます。
- ファイル表示部に表示されている列の幅を変更します。
- 横または縦にスクロールします。
- 文字を入力すると、名前がその文字で始まる最初のファイルにジャンプします (その前にファイル表示部をクリックしておきます)。
- <Filter (フィルタ)> ドロップダウンリストを使って、ファイルタイプ (ワイルドカード)、ロック、バージョンラベル、またはプロモーショングループによって、ファイルの表示のフィルタを実行します。
- 【File Filter (ファイルフィルタ)】ボタンをクリックして、ファイルが非再帰的に表示されるようにします。非再帰的に表示させると、プロジェクト表示部で選択されたプロジェクトについて、フィルタ条件を満たすバージョン管理ファイルのみが一覧表示され、プロジェクトのサブプロジェクト内のバージョン管理ファイルは表示されません。これがデフォルトのフィルタです。

- 【File Filter (ファイルフィルタ)】 ボタンをクリックして、ファイルが再帰的に表示されるようにします。再帰的に表示させると、プロジェクト表示部で選択されたプロジェクトに含まれるすべてのサブプロジェクトとプロジェクトが、フィルタ条件を満たすバージョン管理ファイルとともにファイル表示部に一覧表示されます。

リビジョン表示部

リビジョン表示部を使って、バージョン管理ファイルのリビジョンの詳細を表示します。リビジョン表示部を開くには、[View (表示)] – [Show Revisions (リビジョンを表示)] を選択するか、[Show Revisions (リビジョンを表示)] アイコンをクリックします。リビジョン表示部は、ファイルが選択されている場合にのみ表示されます。複数のファイルが選択されている場合は、リビジョン表示部には情報がまったく表示されません。リビジョン表示部が表示されている場合は、[View (表示)] メニューに [Hide Revisions (リビジョンを隠す)] というメニュー項目が表示されます。

Revision	Author	Date Checked In	Locked By	Change Description
1.0	Admin	5/18/98 03:37 PM	ken	Initial revision.

Revisions Version Labels Promotion Groups










〔Revisions (リビジョン)〕 タブ

リビジョン表示部は、選択されたバージョン管理ファイルに特有の情報を反映して、動的に変更されます。バージョン管理ファイルに応じて、リビジョン表示部には最大で 3 つのタブが表示されます。

- 〔Revisions (リビジョン)〕 タブ
- 〔Version Labels (バージョンラベル)〕 タブ
- 〔Promotion Groups (プロモーショングループ)〕 タブ

〔Revision (リビジョン)〕 タブと 〔Version Labels (バージョンラベル)〕 タブは、つねにリビジョン表示部に表示されます。プロモーショングループが有効である場合は、〔Promotion Group (プロモーショングループ)〕 タブも表示されます。

リビジョンは次のアイコンで表示されます。

アイコン	示す内容
	〈Revision (リビジョン)〉
	ロックされたリビジョン
	プロモーショングループに割り当てられたリビジョン
	プロモーショングループに割り当てられロックされたリビジョン
	バージョンラベルが割り当てられたリビジョン
	バージョンラベルが割り当てられロックされたリビジョン
	バージョンラベルとプロモーショングループが割り当てられロックされたリビジョン
	トランク (開発の主流)
	ブランチ (トランクやほかのブランチから分岐した開発の支流)

リビジョン表示部では、次の作業を行うことができます。

- ブランチをクリックして、ブランチのリビジョンに関する情報を確認します。
- [Promotion Groups (プロモーショングループ)]、[Version Labels (バージョンラベル)]、または [Revisions (リビジョン)] タブを選択して、リビジョンに関する各種の情報を表示します。
- 列ヘッダをクリックして、その列を基準にファイルをソートします。
- 列ヘッダの【Sort Order (ソート順)】ボタンをクリックして、ソート順を逆にします。
- リビジョン、バージョンラベル、またはプロモーショングループを右クリックすると、コンテキストメニューが表示され、よく使用される機能にすばやくアクセスすることができます。
- 各タブに表示されるフィールドの幅を変更します。

- リビジョン表示部の幅や高さを変更します。
- 横または縦にスクロールします。

〔リビジョン〕 タブについて

デフォルトでは、〔リビジョン〕 タブがリビジョン表示部の前面に表示されます。〔リビジョン〕 タブには、選択したバージョン管理ファイルに関連するすべてのリビジョンが一覧表示されます。タブには、各リビジョンについて、リビジョン番号、リビジョンの作成者、リビジョンがチェックインされた日付、リビジョンをロックしたユーザ、および変更に関するコメントが表示されます。

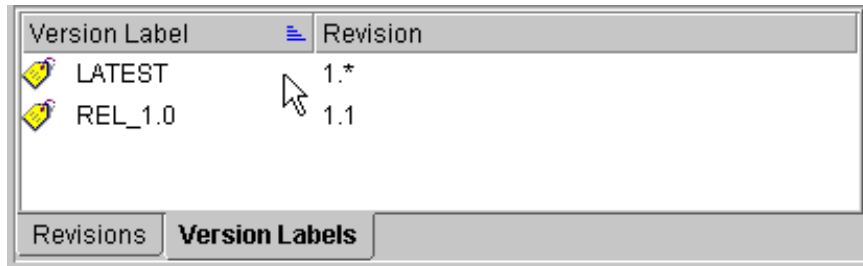
また、表示されるアイコンによって、リビジョンがブランチの一部であるか、プロモーショングループに属しているか、ロックされているか、割り当てられたバージョンラベルがあるかがわかります。

〔Revisions (リビジョン)〕 タブには、次のフィールドが表示されます。

フィールド	示す内容
〈Revision (リビジョン)〉	リビジョンに割り当てられた番号
〈Author (作者)〉	リビジョンの作成者のユーザ ID
〈Date Checked In (チェックイン日時)〉	リビジョンがチェックインされた日付と時刻
〈Locked By (ロック)〉	リビジョンのロックを保持するユーザ
〈Change Description (コメント)〉	リビジョンに含まれる変更の説明

[Version Labels (バージョンラベル)] タブについて

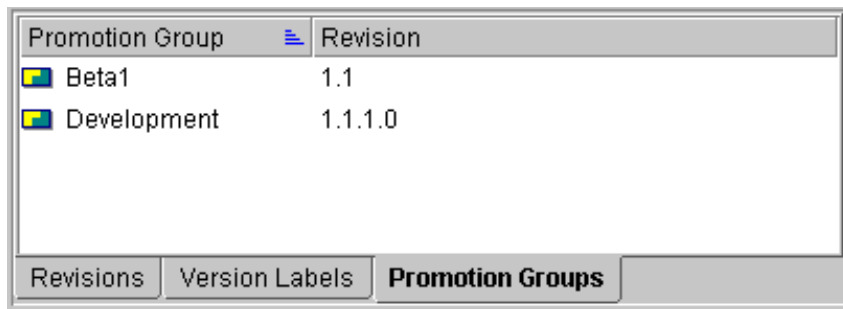
[Version Labels (バージョンラベル)] タブをクリックすると、タブが前面に表示されます。



[Version Labels (バージョンラベル)] タブは、各リビジョン番号に割り当てられたバージョンラベルを示します。バージョン管理ファイルにバージョンラベルがまったく割り当てられていない場合は、このタブには何も表示されません。

[Promotion Groups (プロモーショングループ)] タブについて

[Promotion Groups (プロモーショングループ)] タブでは、バージョン管理ファイルに割り当てられたプロモーショングループを確認できます。プロジェクトまたはプロジェクトデータベースのプロモーションモデルが定義されていない場合は、このタブは表示されません。タブをクリックすると、前面に表示されます。



[Promotion Groups (プロモーショングループ)] タブは、各リビジョン番号に割り当てられたプロモーショングループを示します。

ブランチのレビュー

選択したバージョン管理ファイルにブランチが含まれている場合は、[Revisions (リビジョン)] タブに次のようなブランチの詳細が表示されます。

Revision	Author	Date Checked In
☰ 1.*(Trunk)		
📄 1.3	Admin	5/18/98 05:03 PM
📄 1.2	Admin	5/18/98 04:49 PM
📄 1.1	Admin	5/18/98 04:36 PM
📄 1.0	Admin	5/18/98 03:37 PM
☰ 1.2.1.*		

Revisions Version Labels

トランク →

ブランチ →

ブランチが存在する場合は、[Revisions (リビジョン)] タブは開発の主流（トランク）とそのブランチのリビジョンを表示します。+ または - の記号をクリックすることで、開発のブランチや主流の内容を展開して表示したり、隠すことができます。ブランチとマージに関する詳細は、『Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド』を参照してください。

フィルタ

ファイルのグループにアクションを実行

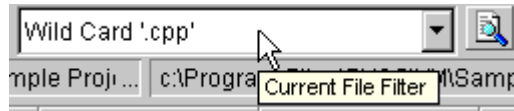
フィルタを定義すると、ファイル表示部でバージョン管理ファイルの表示を変更し、必要なバージョン管理ファイルをすばやく検索することができます。必要なファイルのみを表示してファイルをすべて選択 (CTRL+A キー) すれば、チェックアウトなどのアクションをグループ全体に対して実行することができます。

フィルタでは次の基準を使用して、表示するバージョン管理ファイルを制限できます。

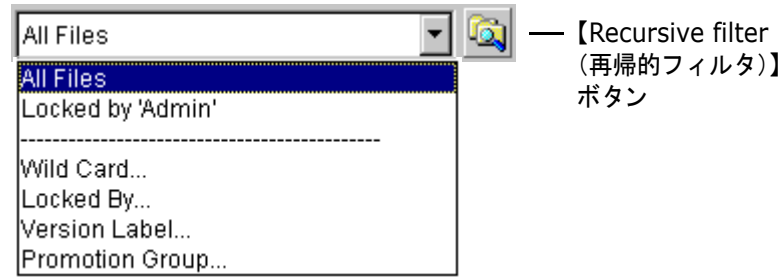
- 特定のユーザにロックされたリビジョン
- ファイル名がワイルドカードに一致するもの
- 特定のプロモーショングループまたはバージョンラベルが割り当てられているもの
- リビジョン番号、修正時刻またはリビジョンの内容が次の項目間で異なるもの
 - 2つのバージョンラベル

- 2つのプロモーショングループ
- バージョンラベルとプロモーショングループ

デスクトップの右上隅にある「Filter (フィルタ)」>ドロップダウンリストを使用して、すばやくフィルタを設定したり定義したりできます (下図参照)。



Version Manager には、最後に定義された 4 つのフィルタが保存されます。これらの保存されたフィルタには、[View (表示)] - [Filter (フィルタ)] を選択するか、「Filter (フィルタ)」ドロップダウンリストからアクセスできます。





再帰的にフィルタを実行

また、次のように現在のプロジェクトとそのサブプロジェクトのフィルタを実行する再帰的フィルタを使うことによって、表示を変更することもできます。

Name	Date Checked In	Locked By
vvarnmaplay.java	5/17/98 04:07 AM	
/chess/client/board		
board.jpr	5/17/98 03:37 PM	
Boardsquares.java	5/17/98 03:37 PM	
Chessboard.java	5/17/98 03:37 PM	
CVS.java	5/17/98 03:37 PM	
MoveTuple.java	5/17/98 03:37 PM	
PromotionDialog...	5/17/98 03:37 PM	
/chess/client/images		
cmpieces.gif	5/17/98 03:37 PM	
IBMBOARD.GIF	5/17/98 03:37 PM	

非再帰的（プロジェクトを含まない）または再帰的（プロジェクトを含む）フィルタを設定するには、次のアイコンを使用します。

アイコン	用途
	サブプロジェクトを除いた、現在のプロジェクトにのみフィルタを実行します。
	すべてのサブプロジェクトを含むカレントプロジェクトまたはプロジェクトデータベースにフィルタを実行します。

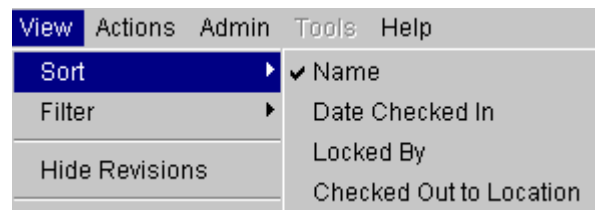
ファイル表示フィルタの詳細は、『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』を参照してください。

ソート

デフォルトでは、ファイルは名前によってアルファベット順にソートされています。しかし、ソート順を変更して、ロック状況、変更日付、およびチェックアウトロケーションにしたがってファイルを表示することもできます。


ファイルの表示のソートは、次の 2 つの方法で行うことができます。

- 次に示されているように、[View(表示)] - [Sort(ソート)] を選択します。



- <Name (名前)>、<Data Checked In (日付)>、<Locked By (ロック)>、または <Check Out to Location (チェックアウト先)> などの列ヘッダをクリックして、そのフィールドでソートします。

ソート順を逆に
して表示を変更する

【Sort Order (ソート順)】ボタン () をクリックすると、ソート順を逆にすることができます。ソート順を逆にすると、ファイルは逆の順番に表示されます。たとえば、チェックイン日時でファイルをソートしている場合は、最後に変更されたファイルが最下部に表示されます。最後に変更されたファイルをファイル表

示部の最上部に表示するには、【Sort Order (ソート順)】ボタンをクリックします。

日付でソート

Name	Date Checked In	Locked By	Cf
/chess/client			
DrawDlg.java	5/17/98 10:03 PM		
chessviewer.html	5/18/98 03:46 AM		
ChessViewer.jpr	5/18/98 03:48 AM		
BoardOptions.java	5/18/98 03:51 AM		
ChessRules.java	5/18/98 03:53 AM		

逆の順番に日付でソート

Name	Date Checked In	Locked By	Cf
/chess/client			
Ist	11/23/99 04:04 PM		
WannaPlay.java	5/18/98 04:07 AM		
ServerMessage.js...	5/18/98 04:07 AM		
readme.html	5/18/98 04:07 AM		
PlayerListListene ...	5/18/98 04:07 AM		

ショートカットキー

ショートカットキーを使用すると、デスクトップクライアントをすばやく操作することができます。ショートカットキーでは、メニューやダイアログボックスに表示されている機能にアクセスできます。

ショートカットキーで実行できる機能については、次のようにそのキーがメニュー上の機能の隣りに示されます。

機能	ショートカットキー
Get...	Ctrl+G
Check Out...	Ctrl+O
Check In...	Ctrl+I

ショートカットキーを使用するには、CTRL キーを押しながら、対応するショートカットキーを押します。ショートカットキーは次の機能で使用できます。

機能	ショートカットキー
作業ファイルの追加	CTRL+F
チェックイン	CTRL+I
チェックアウト	CTRL+O
Get	CTRL+G
最新の情報に更新	CTRL+R
すべて選択	CTRL+A
相違点の表示	CTRL+D
履歴の表示	CTRL+H
マージの表示	CTRL+M
プロパティの表示	CTRL+ENTER
作業ファイルの場所の設定	CTRL+W
プロジェクトの作成	CTRL+P
ジャーナルの表示	CTRL+J



注記 Windows では、ALT キーを押してメニューバーにアクセスできます。

ダイアログボックス内のショートカットキー

ショートカットキーは、ほとんどのメッセージボックスで利用できます。下線の付いた文字のキーを押すと、基本的な選択がキーボードで行えます。たとえば、Y で【Yes (はい)】、N で【No (いいえ)】、O で【Format (フォーマット)】を選択できます。

ダイアログボックスの無効化

作業プロセスの効率を向上 作業プロセスを効率化するために、[Check Out (チェックアウト)] ダイアログボックスなど特定のダイアログボックスを表示しないようにすることができます。これにより、アクションを実行するときに、情報を入力するためのダイアログボックスが表示されずにすぐにタスクが完了します。アクション実行時には、最後にダイアログボックスが使用されたときにダイアログボックスに入力された値が使用されます。

オンラインヘルプの使用方法

オンラインヘルプシステムでは、Version Manager の使用手順および概念のわかりやすい情報を提供します。これは、HTML ベースのヘルプシステムで、Windows 上では、デフォルトの HTML ブラウザを使用して開かれます。

UNIX 上では、Version Manager でブラウザの場所を指定する必要があります。くわしくは、『Version Manager インストールガイド』を参照してください。



注記 本バージョンでは英文のオンラインヘルプを提供しています。ヘルプの機能の一部は、古いバージョンのブラウザではサポートされません。ブラウザの条件については、readmevm.html ファイルまたは『Version Manager インストールガイド』を参照してください。

ヘルプへのアクセス

オンラインヘルプには、以下の方法でアクセスします。

- メニューバーから：[Help (ヘルプ)] - [Help Topics (トピックの検索)] を選択します。
- ダイアログボックスから：ダイアログボックス内の【Help (ヘルプ)】をクリックすると、そのダイアログボックスについてのヘルプ項目が表示されます。
- フィールドから：F1 キーを押すと、選択されているフィールドについてのヘルプが表示されます。
- メインウィンドウから：F1 キーを押すと、ヘルプシステムが表示されます。

ヘルプのウィンドウ

オンラインヘルプのウィンドウは以下のように表示されます。ただし、使用しているブラウザにより、一部表示が異なります。



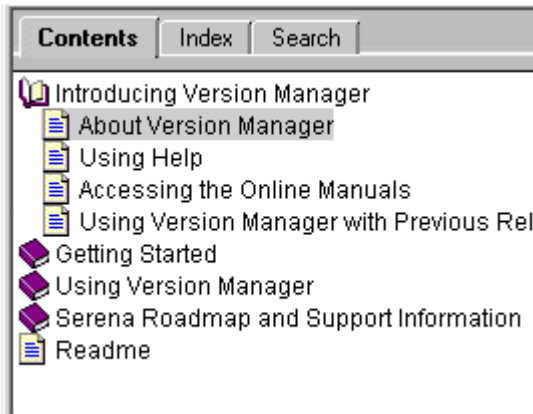
左側はナビゲーション表示部で、3つのタブ（目次、キーワード、検索）がついています。この表示部で選択されたトピックが、右側のトピック表示部に表示されます。

ナビゲーション表示部の表示 / 非表示

各ダイアログボックスの【Help（ヘルプ）】をクリックしてヘルプを表示させたときは、そのダイアログボックスに関するヘルプトピックが表示されますが、ナビゲーション表示部は表示されません。ナビゲーション表示部を表示するには、トピックの上部にある「Show Navigation（ナビゲーションを表示）」というリンクをクリックします。ナビゲーション表示部を隠すには、「Hide Navigation（ナビゲーションを非表示）」というリンクをクリックします。

目次の使用

〔Contents (目次)〕 タブは、HTML ブラウザの左側のフレームに表示されます。

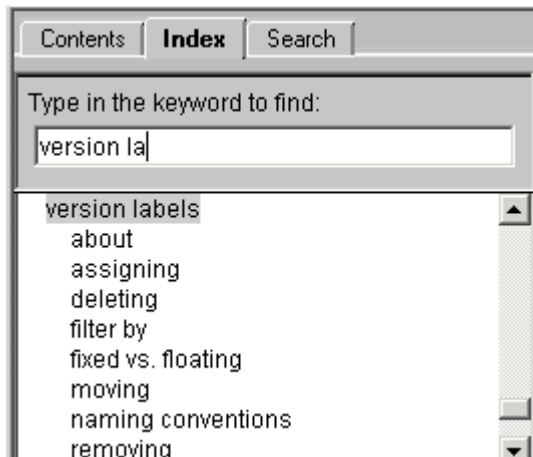


目次では、以下を実行できます。

- ヘルプトピックを選択すると、トピック表示部に表示されます。
- Windows の標準のナビゲーションキーを使用して、見出しを展開したり、閉じることができます。たとえば、閉じられている見出しを選択し、右矢印キーを押すと展開されます。また、展開されている見出しを選択して、左矢印キーを押すと閉じられます。

キーワードの使用

〔Index (索引)〕 タブは、HTML ブラウザの左側のフレームに表示されます。

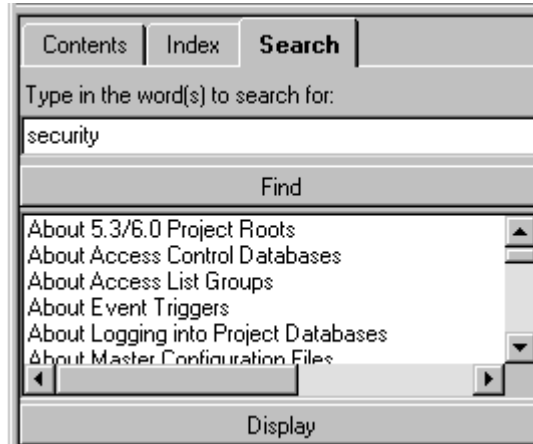


単語や語句を見つけるには、次の操作を行います。

- 1 〈Type in the keyword (キーワードを入力してください)〉ボックスに単語や語句を入力します。入力するにつれ、キーワードのリストがスクロールし、もっともあてはまる項目が表示されます。
- 2 選択したキーワードに関連付けられているトピックを表示させるには、項目をダブルクリックするか、【Display (表示)】をクリックします。
- 3 以下のいずれかの結果となります。
- 4 キーワードに 1 つのトピックのみが関連付けられている場合は、トピック表示部にそのトピックが表示されます。
- 5 キーワードに複数のトピックが関連付けられている場合は、それらのトピックを表示したダイアログボックスが現れます。トピックを 1 つ選択して、ダブルクリックしてください。トピック表示部にそのトピックが表示されます。

検索の使用

検索機能により、ヘルプシステム全体から単語を検索することができます。この機能を使用するには、[Search (検索)] タブをクリックします。[Search (検索)] タブが HTML ブラウザの左側に表示されます。



単語や語句を検索するには、次の操作を行います。

- 1 〈Type in the word(s) to search for (探したい語句を入力してください)〉ボックスに単語を入力し、【Find (検索)】をクリックします。検索機能により、全ヘルプトピックが検索され、入力した単語を含むトピックのタイトルが表示されます。

- 2 トピックを表示させるには、リスト内のトピックタイトルをダブルクリックするか、選択して【**Display (表示)**】をクリックします。トピック表示部にそのトピックが表示されます。

以下の表は、検索に使用できるブーリアン演算子の一覧です。演算子を使用する場合は、その前後に半角スペースを入れる必要があります。

検索対象	入力形式	結果
複数の単語	単語1 AND 単語2	単語1 と 単語2 の両方を含むトピック 複数の単語を、間に半角スペースを入れて入力すると、AND を入れた場合と同じ結果となります。「単語1 単語2」という文字列を含むトピックが検索されるわけではありません。
複数の単語のいずれか	単語1 OR 単語2	単語1 と 単語2 のいずれか、または両方を含むトピック
ある単語は含むが、別の単語は除く	探す単語 NOT 除く単語	探す単語が含まれるが、除く単語は含まないトピック

ヘルプトピックの印刷

ヘルプトピックを印刷するには、使用している HTML ブラウザの印刷機能を使用します。



注記 トピックを印刷するには、[Print (印刷)] を選択する前にトピックの選択が必要な場合があります。選択しておらず、直前にナビゲーション表示部をクリックしている場合は、目次が印刷される場合があります。

第 2 章

Version Manager の使用法

デスクトップクライアントでの作業	46
コマンドラインインターフェイスの作業	76

デスクトップクライアントでの作業

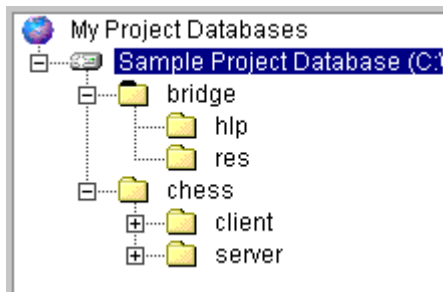
このセクションでは、デスクトップクライアントを使って新規プロジェクトを作成し、サンプルプロジェクトデータベースファイルで作業を行います。

サンプルプロジェクトデータベースとシナリオについて

デフォルトでは、Serena ChangeMan Version Manager をインストールすると、サンプルプロジェクトデータベースが次の場所にインストールされます。

- **UNIX 版** : /usr/serena/vm/common/sampledb\
- **Windows 版** : *VM_Install*\vm\common\sampledb
VM_Install は、Version Manager をインストールした場所です (たとえば d:\program files\serena\)

Version Manager のデフォルトのインストール場所を変更すると、サンプルプロジェクトデータベースは vm ディレクトリの下位にインストールされます。この場所には、Chess、Checkers、および Bridge という 3 つのゲーム用のサンプルファイルが格納されます。ただし、Chess および Bridge プロジェクトのファイルのみがアーカイブされています。Chess および Bridge プロジェクトを次に示します。



Checkers ファイルはアーカイブされていません。これは以降の演習で行います。また、新規アプリケーションの開発時に開発者が実行する基本的なタスクもいくつか実行します。

このセクションの演習では、次のように想定します。

- あなたは、コンピュータゲームを設計する大企業の開発者です。
- あなたのタスクは新しいゲーム Checkers での作業を開始することです。

- 管理者は、開発中のゲーム用のプロジェクトデータベースをすでにセットアップしています。
- 管理者はあなたにユーザ名（Ken）を割り当てています。あなたはこれを使ってサンプルプロジェクトデータベースにログインします。

デフォルト設定の使用法

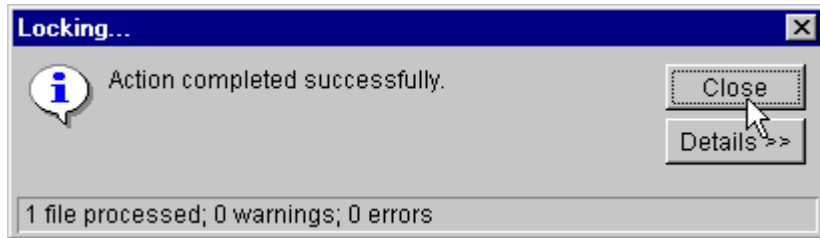
各ダイアログボックスには Version Manager によって一連のデフォルトオプションが設定されており、これによってアクションをより簡単かつ迅速に実行できます。この章の演習では、これらのデフォルト設定を使用します。これらのデフォルトオプションは、プロジェクトデータベースに適用されているコンフィグレーションファイル設定によって定義されます。管理者がデフォルトのコンフィグレーション設定を変更すると、各ダイアログボックスのオプション設定は、管理者の設定に合わせて変更されます。

たとえば、バージョン管理ファイルを選択してから [Actions (アクション)] - [Check In (チェックイン)] を選択し、コメントを入力して【OK】をクリックすることで、作業ファイルをすばやくチェックインすることができます。あなたや管理者がコンフィグレーション設定をまったく変更していない場合は、Version Manager によって次のことが自動的に行われます。

- 〈Check In From (チェックインするファイル)〉フィールドに示された場所から作業ファイルをチェックインし、作業ファイルに連番のリビジョン番号を割り当てます。
- 作業ファイルの読み取り専用コピーを保持します。
- 作業ファイルのチェックイン後は、作業ファイルがそのまま残され、リビジョンのロックは保持されません。
- 選択されたプロジェクトのファイルのみをチェックインし、プロジェクトのサブプロジェクトのファイルはチェックインされません。
- 作業ファイルが変更されていない場合は、確認のためメッセージが表示されます。
- プロモーションモデルが有効な場合は、現在リビジョンに割り当てられているプロモーショングループを保持します。
- バージョンラベルを割り当てないか、またはブランチを作成しません。

【Results (結果)] ダイアログボックスの自動消去

【Results (結果)] ダイアログボックスは、作業ファイルの追加、作業ファイルのチェックイン、リビジョンのチェックアウトなどの多くのタスクを実行した後に表示されます。【Results (結果)] ダイアログボックスは、アクションの成功または失敗を確認し、失敗した場合にはエラーメッセージが表示されます。デフォルトでは、このダイアログボックスを消去するには、以下に示すように、【Close (閉じる)] をクリックする必要があります。ただし、アクションが成功した場合は【Close (閉じる)] をクリックしなくてもダイアログボックスを自動的に消去するよう設定して、作業時間を短縮することができます。



【Results (結果)] ダイアログボックスを自動的に消去するには、【Options (オプション)] ダイアログボックスの 【Dialog Behavior (ダイアログボックス)] タブで <Automatically dismiss result dialogs when action is successful (正常終了の場合は、結果を自動的に画面から消去)> チェックボックスを選択します。

ダイアログボックスのオプションの設定に関する詳細については、『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』を参照してください。

プロジェクトデータベース

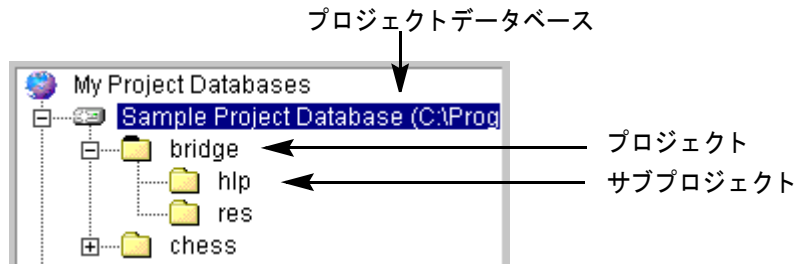
プロジェクトデータベースは、一群のプロジェクト、サブプロジェクト、およびバージョン管理ファイルを階層的に表示したものです。プロジェクトデータベースはリレーショナルデータベースではありません。プロジェクトデータベースには、そこに含まれるすべてのプロジェクト、サブプロジェクト、およびバージョン管理ファイルのコンフィグレーション設定が格納されます。

オペレーティングシステム上でのプロジェクトデータベース構造

オペレーティングシステムまたはファイルシステム上で、プロジェクトデータベースは、プロジェクトファイル、pvcsuser ディレクトリ、プロジェクトディレクトリ、lib ディレクトリおよび、場合によっては archives ディレクトリと work ディレクトリの集まりです。archive ディレクトリと work ディレクトリのデフォルトの場所は、プロジェクトデータベースの作成時に変更できます。

デスクトップクライアント内でのプロジェクトデータベース構造

以下に示すように、プロジェクトデータベースにはプロジェクトとサブプロジェクトが含まれます。これらは〔ファイル〕表示部に表示されるバージョン管理ファイルも含んでいます（以下には示されていません）。

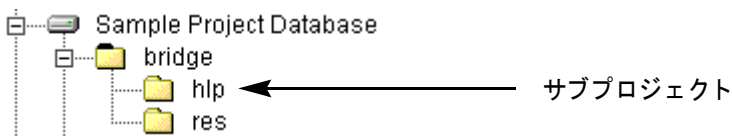


ユーザのプロジェクトに対する操作は、プロジェクトデータベースのセットアップ方法によって、次のように異なります。

- プロジェクトデータベースのコンフィグレーション設定は、その中のプロジェクトによって継承されます。ただし、管理者がプロジェクトデータベース内で禁止していない場合、プロジェクトのコンフィグレーションファイルによってオーバーライドされる場合もあります。
- プロジェクトデータベース用に定義されたアクセスコントロールデータベースは、プロジェクトによって継承され、プロジェクトデータベースに対してアクションを実行する権限を与えられたユーザ、および各ユーザが実行できるアクションを識別します。アクセスコントロールデータベースは個々のプロジェクトについて作成でき、プロジェクトデータベースのアクセスコントロールデータベースをオーバーライドします。
- プロジェクトデータベースに設定されたワークスペースは、各プロジェクトとバージョン管理ファイルに割り当てられた作業ファイルの場所を定義します。
- プロジェクトデータベースに定義されたツールバーコンフィグレーションファイルは、カスタムツールバーで使用できるカスタムツールと機能を定義します。

サブプロジェクト

サブプロジェクトは、ほかのプロジェクトにネストされているプロジェクトです。



サブプロジェクトを使って、オペレーティングシステムやファイルシステム上の作業ファイルと同じように、バージョン管理ファイルを編成します。作業ファイルを追加すると、作業ファイルの場所のサブディレクトリと一致するサブプロジェクトが自動的に作成されます。また、ほかの構造を反映させるために、サブプロジェクトを作成してバージョン管理ファイルを編成することもできます。



実習

- 1 サンプルプロジェクトデータベースを展開します。
- 2 chess プロジェクトを展開します。chess プロジェクトには、client および server という 2 つのサブプロジェクトが含まれています。これらのサブプロジェクトの両方とも、ほかのサブプロジェクトを含んでおり、これらはクライアント / サーバアプリケーションの作業構造を反映してネストされています。

ワークスペース

ワークスペースは、プロジェクトデータベースについて定義された作業設定の集まりです。1 つのプロジェクトデータベースについて、1 人のユーザは一度に 1 つのワークスペースのみを設定できます。そして、このワークスペースにより、そのプロジェクトデータベース内のすべてのプロジェクト、サブプロジェクト、およびバージョン管理ファイルの作業設定が定義されます。

作業設定には以下が含まれます。

- プロジェクトデータベースとそのプロジェクト、サブプロジェクト、およびバージョン管理ファイルについて定義された作業ファイルの場所。
- デフォルトのバージョン。これは、リビジョン番号、バージョンラベル、またはプロモーショングループを指定しない場合に Version Manager によって自動的に使用されるリビジョンです。
- ベースバージョンとブランチバージョン。これらは、自動ブランチを容易にするために使用されます。
- デフォルトプロモーショングループ。これは、プロモーションモデルを使用している場合にのみ含まれます。デフォルトプロモーショングループは、プロモーションモデルで最下位のプロモーショングループです。デフォルトでは、リビジョンのチェックアウト、リビジョンのロックおよび作業ファイルの追加を行うときに、デフォルトプロモーショングループがリビジョンに割り当てられます。デフォルトプロモーショングループを定義しておく、ユーザがこれらの操作を行うときに、割り当てるプロモーショングループを指定する必要がなくなります。

ワークスペースを使用する理由

ワークスペースは、複数の業務グループが中央のプロジェクトデータベースを共有する場合に、作業環境を効果的に管理する方法を提供します。

通常、プロジェクトデータベースが複数の業務グループによって共有されている場合は、そのプロジェクトデータベースについて管理者が QA、DEV、および Production など複数のワークスペースを定義します。これらの各ワークスペースでは、異なる作業設定が定義されます。たとえば、QA グループのユーザの作業ファイルの場所は K:\QA\Checkers、Dev グループのユーザの作業ファイルの場所は S:\Dev\Checkers のように、異なる場所を設定できます。これらのワークスペースが定義されると、各ユーザは適切な定義済みワークスペースを選択して、その業務グループに適切な作業ファイルの場所、デフォルトバージョン、ベースバージョン、およびブランチバージョンを使用できます。



実習

- 1 サンプルプロジェクトデータベースを選択します。
- 2 [File (ファイル)] - [Set Workspace (ワークスペースの設定)] を選択します。
- 3 <Dev> を選択して [OK] をクリックします。

ヘッダバーの <Workfile Location (作業ファイルの場所)> フィールドに表示されているパスが、Development (開発部) の作業ファイルの場所である SampleDb\work\dev に変更されます。ワークスペース名の Dev もステータスバーに表示されます。

作業ファイルの追加

作業ファイルは、オペレーティングシステム上に置かれているソースファイルで、このファイルからバージョン管理ファイルを作成します。バージョン管理ファイルは、バージョン管理下に置かれるファイルです。この時点で、作業ファイルのディレクトリ全体の追加、バージョン管理ファイルの作成、プロジェクトの作成、およびアーカイブの作成を、1 つのステップで簡単に行うことができます。Version Manager は、作業ファイルディレクトリの既存の構造を使用して、プロセスを自動化しアーカイブディレクトリを作成します。作業ファイルの追加により、ファイルの最初のリビジョンがチェックインされます。



実習

- 1 chess プロジェクトを右クリックします。
- 2 [Add Workfiles (作業ファイルの追加)] を選択します。

- 3 [Add Workfiles (作業ファイルの追加)] ダイアログボックスで、【Browse (参照)】 ボタンを使用して SampleDb\work\bridge ディレクトリを検索して選択し、【OK】 をクリックします。
- 4 〈Description (説明)〉 テキストボックスに「my files」と入力します。
- 5 〈Use description for all (この説明をすべてのファイルに適用)〉 チェックボックスを選択し、【OK】 をクリックします。Version Manager によって、Bridge プロジェクトの作成、作業ファイルの追加、バージョン管理ファイルの作成、およびアーカイブの作成が行われます。

ファイルの取得と表示

ファイルをアーカイブからチェックアウトせずに、ファイルの読み取り専用コピーを取得して表示することができます。リビジョンを取得すると、そのリビジョンはそのままの状態に保たれ（ロックの有無にかかわらず）、現在作業ファイルの場所として設定されている場所に読み取り専用の作業ファイルが作成されます。

リビジョンの表示は、基本的にリビジョンの取得と同じで、デフォルトリビジョンの読み取り専用のコピーが作成されます。ただし、リビジョンの表示の場合は、Version Manager が以下のように動作します。

- 作業ファイルをテンポラリディレクトリにコピーします。Windows では、テンポラリディレクトリは、TEMP 環境変数で定義されています。Version Manager は、最初にファイルを表示したテンポラリディレクトリに /pvcs ディレクトリを作成します（例：/temp/pvcs）。UNIX では、これは、pvcsvmux スクリプトによって定義され、/tmp/pvcs に設定されます。
- 作業ファイルのファイルタイプに関連付けられたアプリケーションを起動し、作業ファイルを開きます。ファイルの表示には、Windows によりデフォルトで関連付けられているエディタが使用されます。または、[View (表示)] - [Options (オプション)] の選択により表示されるダイアログボックスで、表示に使用するエディタを指定することもできます。

Version Manager はファイルをロックしたり、作業ファイルの場所にファイルをコピーしたりしないため、表示している間にそのファイルに対するほかのユーザのアクセスを妨害する心配はありません。



実習

- 1 サンプルプロジェクトデータベースを選択します。
- 2 Chess プロジェクトを展開します。

- 3 server サブプロジェクトを選択します。
- 4 [ファイル] 表示部で、「server.bat」ファイルをダブルクリックします。
- 5 [View (表示)] を選択して、【OK】をクリックします。
- 6 [Get File (取得 : ファイル)] ダイアログボックス内で、〈Copy To (コピー先)〉フィールドに表示されたパスは、システムに定義されているテンポラリディレクトリと、Version Manager により自動的に作成される /pvcs ディレクトリが組み合わされています。【OK】をクリックすると、テキストエディタでファイルが開かれます。

プロジェクトとバージョン管理ファイルの移動

作業を再編成する必要がある場合は、プロジェクトとバージョン管理ファイルを新しい場所にドラッグアンドドロップして、同じプロジェクトデータベース内の新しい場所に移動できます。また、アイテムを選択してから [Edit (編集)] - [Move (移動)] を選択して、アイテムを移動することもできます。

プロジェクトを移動するとどうなるか？

プロジェクトを移動しても、ワークスペースの設定がプロジェクトデータベースから継承されない場合は、プロジェクトのワークスペース設定は保持されます。ワークスペースの設定を変更しておらず、設定がプロジェクトデータベースから継承される場合は、移動したプロジェクトのワークスペースの設定は、移動先プロジェクトのワークスペースの設定に置き換えられます。



実習

- 1 サンプルプロジェクトデータベースを展開します。
 - a Bridge プロジェクトを展開します。
 - b hlp プロジェクトを res プロジェクト上にドラッグアンドドロップします。
 - c 確認用ダイアログボックスで【Yes (はい)】をクリックします。hlp プロジェクトは res プロジェクトの下に移動します。

プロジェクトとファイルのコピー

ドラッグアンドドロップによるコピー

あるプロジェクトデータベースからアイテムをドラッグして別のプロジェクトデータベースやプロジェクトにドロップすると、プロジェクト全体とその内容、または選択したバージョン管理ファイルをコピーできます。また、[Edit (編集)] - [Copy (コピー)] を選択して、プロジェクトやバージョン管理ファイルをコピーすることもできます。

プロジェクトをコピーすると、ワークスペース設定は保持されません。プロジェクトは、コピー先のプロジェクトデータベースで定義されたワークスペース設定を使用します。

Merge Tool

複数ファイルのマー
ジをサポート

Version Manager デスクトップクライアントは、強力な差分ツールとマージツールを提供し、Windows プラットフォームでは複数ファイルの、UNIX プラットフォームでは 2 ファイルのマージを実行できます。Windows では、マージできるファイル数に制限はありません。

差分機能およびマージ機能の両方とも、次のように多くのオプションをカスタマイズできます。

- 大文字小文字の区別
- 相違点と競合を示す色
- 使用するフォントスタイル
- スペースとタブの取り扱い
- 行番号の使用

ファイルの選択を含むこれらのオプションの多くは、コンフィグレーションファイルに保存して、後で使用することができます。

アーカイブの配置

Version Manager では、最初にプロジェクトデータベースを作成するときにアーカイブの格納場所を定義できます。デフォルトでは、Version Manager により、プロジェクトデータベースの格納場所に対する相対パスを使用して、アーカイブの場所は自動的に作成されます。しかし、このパスを変更して、別の格納場所を使用することもできます。

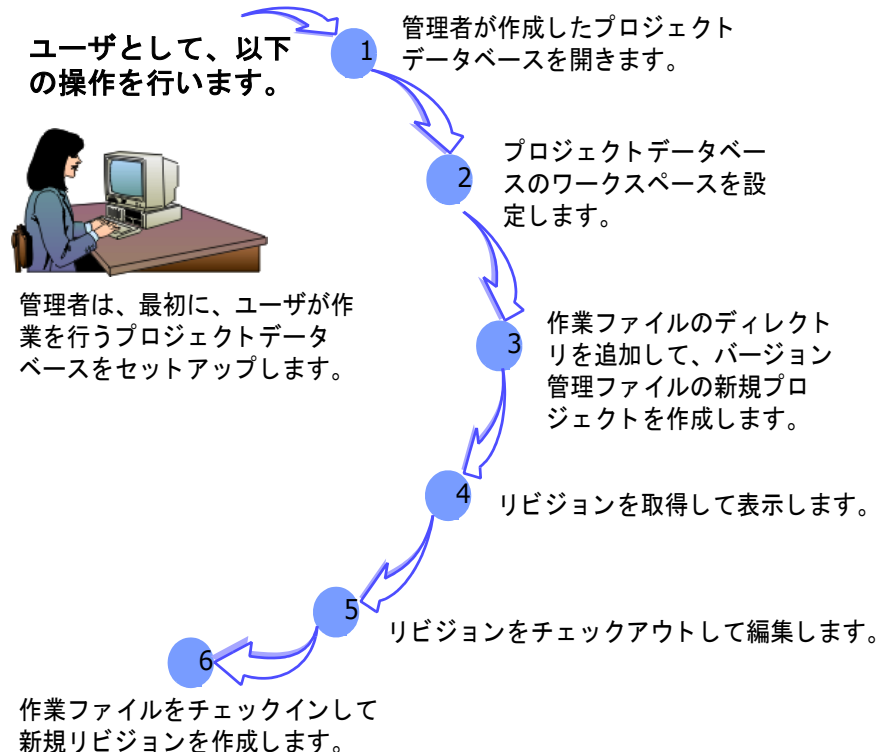
プロジェクト情報の格納場所

オペレーティングシステムまたはファイルシステムでは、プロジェクトデータベースの場所には、コンフィグレーションオプションやユーザ情報などのプロジェクトデータベースに関する情報が含まれます。これらのファイルは、[Create Project Database (プロジェクトデータベースの作成)] ダイアログボックスで指定された場所に Version Manager によって作成されたディレクトリに格納されます。次のようなディレクトリが作成されます。

- *archives* ディレクトリ。
- *work* ディレクトリ。
- *pvcsuser* ディレクトリ。これは、プロジェクトデータベースの場所に自動的に作成されます。
- *lib* ディレクトリ。これは、プロジェクトデータベースの場所に自動的に作成されます。
- プロジェクトデータベースの場所であることを示すいくつかの Version Manager プロジェクトデータベースファイル。これらのデータファイルは、プロジェクトデータベースディレクトリのルートに格納されます。

デスクトップクライアントにおけるユーザのワークフロー

Version Manager デスクトップクライアントを使用して一般的なユーザが実行する最も基本的なタスクを以下の図に示します。次のセクションの番号が振られた演習は、このワークフローに従って行います。



1 プロジェクトデータベースのオープン

目的 : [File (ファイル)] メニューを使用してプロジェクトデータベースを開きます。

シナリオ : 管理者はすでに複数のサンプルゲームアプリケーションのプロジェクトデータベースをセットアップしていますが、担当として割り当てられた新しい Checkers プロジェクトのプロジェクトを追加する必要があります。これを行う前に、プロジェクトデータベースを開く必要があります。

注記 すでに [Welcome to Serena ChangeMan Version Manager (Serena ChangeMan Version Manager へようこそ)] ダイアログボックスからサンプルプロジェクトデータベースを開いている場合は、この演習の先に進む前に閉じてください。

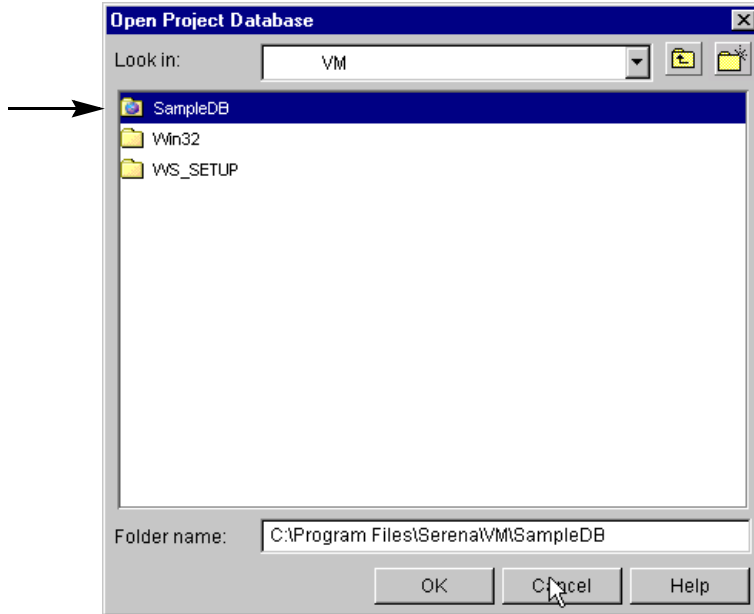
プロジェクトデータベースを閉じるには以下の操作を行います。

- 1 サンプルプロジェクトデータベースがすでに開かれている場合は、プロジェクト表示部内でそれを選択します。
- 2 [File (ファイル)] - [Close Project Database (プロジェクトデータベースを閉じる)] を選択します。サンプルプロジェクトデータベースが閉じて、プロジェクト表示部から削除されます。

サンプルプロジェクトデータベースを開くには、以下の操作を行います。

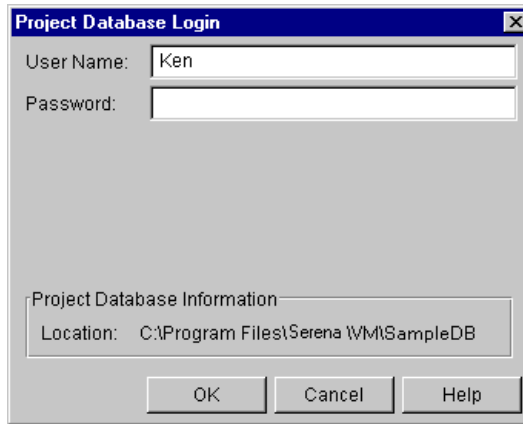
- 1 [File (ファイル)] – [Open Project Database (プロジェクトデータベースを開く)] を選択します。[Open Project Database (プロジェクトデータベースを開く)] ダイアログが表示されます。

ディレクトリがプロジェクトデータベースであることを示します。



- 2 Version Manager のインストールディレクトリの下位にあるサンプルプロジェクトデータベースの格納場所を選択します。デフォルトのインストールディレクトリを変更していないかぎり、サンプルプロジェクトデータベースは次の場所のいずれかにインストールされています。
 - **UNIX 版** : /usr/serena/vm/common/sampledb
 - **Windows 版** : *VM_Install*\vm\common\sampledb
VM_Install は、Version Manager をインストールした場所です。

- 3 【OK】をクリックします。サンプルプロジェクトデータベースを初めて開いた場合は、[Login (ログイン)] ダイアログボックスが表示されます。



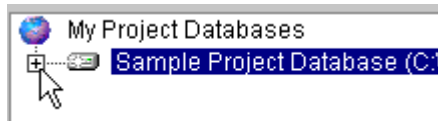
- 4 管理者から提供された情報を使用し、ユーザ名として Ken を入力します。管理者はパスワードを設定していないので、(Password (パスワード)) フィールドに値を入力する必要はありません。
- 5 【OK】をクリックします。サンプルプロジェクトデータベースにログインし、サンプルプロジェクトデータベースがプロジェクト表示部に表示されます。

ここで学習した内容は、次のとおりです。

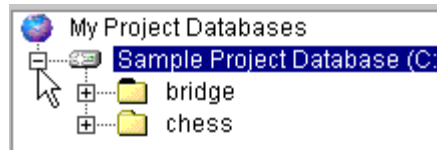
- プロジェクトデータベースを閉じる方法
- サンプルプロジェクトデータベースを開く方法
- ログインソースとして [Login (ログイン)] ダイアログボックスを使うように設定されたプロジェクトデータベースにログインする方法

プロジェクトデータベースに関するメモ

- プロジェクトデータベース名の隣りのプラス記号をクリックすると、プロジェクトデータベースの表示が展開されます。



- プロジェクトデータベース名の隣りのマイナス記号をクリックすると、プロジェクトデータベースの内容が隠されます。



詳細情報

『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』の『プロジェクトデータベースの操作』または『Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド』の『デスクトップクライアントを使用した Version Manager のセットアップ』を参照してください。

2 ワークスペースの設定

目的：ワークスペースを設定し、デフォルトのワークスペースを定義します。

ワークスペースは、作業の初期設定にしたがって環境をカスタマイズ可能にする作業設定の集まりです。ワークスペースには、作業ファイルの格納場所、リビジョンの選択方法（リビジョン番号、バージョンラベル、またはプロモーショングループを使用）、および自動ブランチで作業をするかどうかとその方法に関する情報が格納されています。

デフォルトワークスペースは、プロジェクトデータベースを開いたときに Version Manager によって自動的に設定されるワークスペースです。

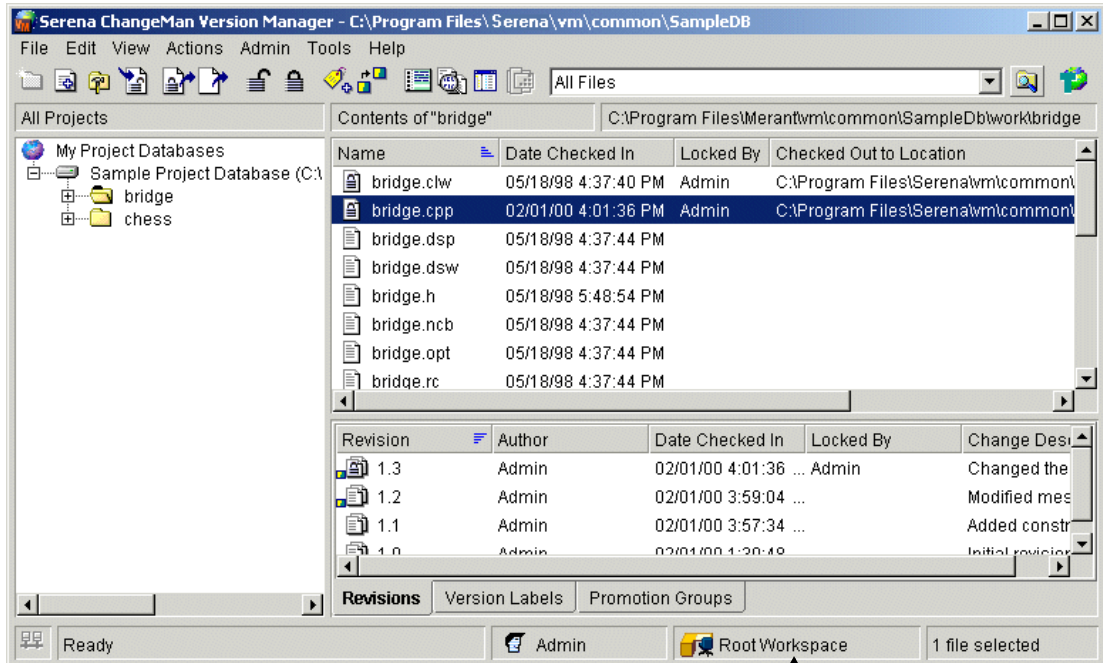
シナリオ：管理者は、サンプルプロジェクトデータベース用に次の 5 つのワークスペースをセットアップします。

ワークスペース	作業ファイルの格納場所
ルート	c:\Program Files\Serena\VM\common\SampleDB\work\
QA	c:\Program Files\Serena\VM\common\SampleDB\work\qa
Dev	c:\Program Files\Serena\VM\common\SampleDB\work\dev
Production	c:\Program Files\Serena\VM\common\SampleDB\work\prod
UNIX	/usr/serena/vm/common/sampledb/work

あなたの役割は開発者ですから、サンプルプロジェクトデータベースで Dev ワークスペースを使用します。

Dev ワークスペースを設定するには、次の操作を行います。

- 1 プロジェクトデータベースで現在設定されているワークスペースがわからないため、次の図で示されているように、サンプルプロジェクトデータベースを選択して、ステータスバーで現在のワークスペースがどれかを確認します。



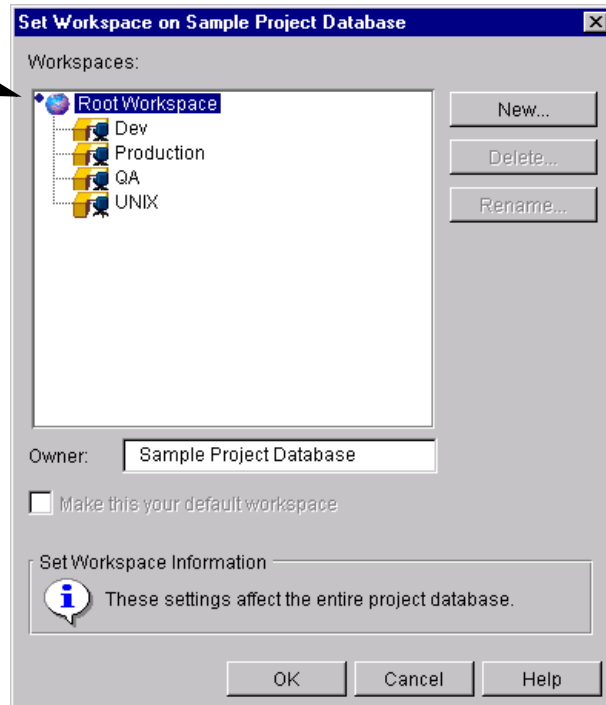
カレントワークスペースの名前

現在ルートワークスペースが設定されており、これを Dev ワークスペースに変更する必要があります。

- 2 ステータスバーでワークスペースの名前をクリックするか、[File (ファイル)] - [Set Workspace (ワークスペースの設定)] を選択します。
デフォルトおよびカレントワークスペースとしてルートワークスペースが表示

示された状態で、[Set Workspace (ワークスペースの設定)] ダイアログボックスが表示されます。

デフォルトおよび
カレントワーク
スペース



デフォルトのワークスペースには菱形のマークが表示されます。カレントワークスペースが選択されています。

- 3 Dev を選択して、〈Make this your default workspace (デフォルトワークスペースに設定)〉チェックボックスを選択します。

プロジェクトデータベースを開くと、デフォルトワークスペースとして定義されたワークスペースが自動的に設定されます。

- 4 【OK】 をクリックします。

Version Manager により、サンプルプロジェクトデータベースについて Dev ワークスペースがユーザ情報と関連づけられます。サンプルプロジェクトデータベースを開くと、Version Manager によって常にこの Dev ワークスペースが自動的に設定されます。ただし、ほかのユーザが同じプロジェクトデータベースを開いている場合は、ほかのユーザがデフォルトワークスペースとして定義したワークスペースが設定され、これは自分で定義したデフォルトワークスペースとは異なる場合があります。

ここで学習した内容は、次のとおりです。

- カレントワークスペースの識別方法
- ワークスペースを設定する方法
- プロジェクトデータベースを開くと自動的にデフォルトワークスペースが設定されるよう、デフォルトワークスペースを定義する方法

ワークスペースに関するメモ

- どのワークスペースが設定されているかは、ステータスバーで確認します。プロジェクトデータベースを選択すると、ステータスバーの現在のユーザ名の右側にカレントワークスペースの名前が表示されます。このワークスペースは、そのプロジェクトデータベース内のすべてのプロジェクトとサブプロジェクトに対して適用されます。ワークスペースは各プロジェクトデータベースごとに異なります。
- プロジェクトデータベース、プロジェクト、またはサブプロジェクトに対して設定されている作業ファイルの場所を確認するには、アイテムを選択してファイル表示部の上の〈Workfile Location (作業ファイルの場所)〉フィールドを確認します。
- バージョン管理ファイル、プロジェクト、サブプロジェクト、またはプロジェクトデータベースについて定義されている作業ファイルの場所を変更して、カレントワークスペースの設定を変更することができます。作業ファイルの場所を変更するには、アイテムを選択し、[File (ファイル)] - [Set Workfile Location (作業ファイルの場所の設定)] を選択します。
- プロジェクトデータベース、プロジェクト、サブプロジェクト、またはバージョン管理ファイルについて定義されているワークスペースの設定を確認または変更するには、アイテムを選択し、[File(ファイル)] - [Properties (プロパティ)] を選択します。[Workspace Settings (ワークスペースの設定)] タブにワークスペースの設定値が表示されます。



詳細情報

『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』の『ワークスペースの操作』または『Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド』の『環境の管理』を参照してください。

3 作業ファイルの追加

目的：作業ファイルのディレクトリ全体を追加し、プロジェクト、バージョン管理ファイル、およびアーカイブを自動的に作成します。作業ファイルの追加により、ファイルの最初のリビジョンがチェックインされます。

追加するすべての作業ファイルについて、Version Manager によってバージョン管理ファイルとアーカイブが作成されます。バージョン管理ファイルは、作業ファイルを追加したときにウィンドウで選択したプロジェクト内に作成されます。アーカイブは、オペレーティングシステムまたはファイルシステム上の、プロジェクト用に定義されたアーカイブの場所に作成されます。

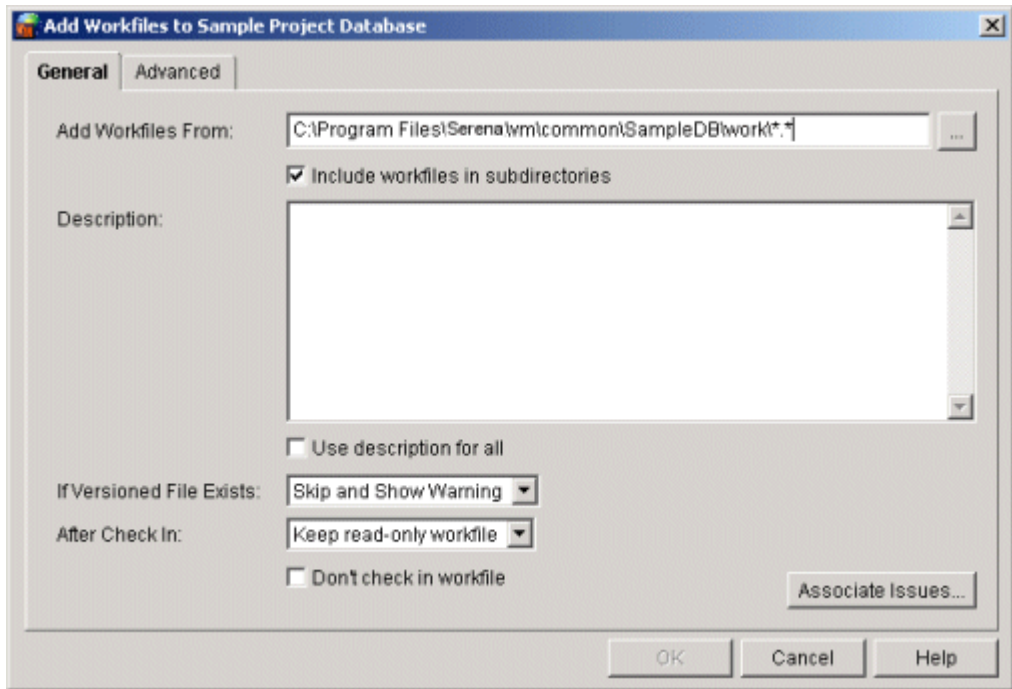
作業ファイルのディレクトリ全体（サブディレクトリを含む）を追加すると、Version Manager により、作業ファイルの各サブディレクトリごとにサブプロジェクトが作成されます。また、プロジェクトに対して定義されているアーカイブの場所にアーカイブのサブディレクトリが作成されます。サブプロジェクトとオペレーティングシステムまたはファイルシステム上のアーカイブディレクトリは、同じ名前になります。

シナリオ：Checkers アプリケーションで作業を行っているときに、あなたは多数のファイルを作成しました。プロジェクトリーダーから、これらのファイルをバージョン管理下に置き、各ファイルに Checkers アプリケーションのコンポーネントであることを示すコメントを付けるように指示されました。ファイルをバージョン管理のもとに置くには、プロジェクトを作成し、それに作業ファイルを追加する必要があります。これは、Checkers の作業ファイルのディレクトリ全体を追加するという、1 つのステップで行うことができます。

Checkers 作業ファイルを追加するには、以下の操作を行います。

- 1 プロジェクト表示部で、サンプルプロジェクトデータベースを選択します。
- 2 [File (ファイル)] - [Add Workfiles (作業ファイルの追加)] を選択します。[Add Workfiles (作業ファイルの追加)] ダイアログボックスが表示されます。

デフォルトでこのダイアログボックスに表示される場所は、プロジェクトデータベースの作業ファイルの格納場所として定義された場所になります。



3 次の手順に従います。

- 〈Add Workfiles From (追加する作業ファイルの場所)〉テキストボックスに、次のいずれかを入力します。これは、バージョン管理下に置く作業ファイルがすべて含まれるディレクトリです。

- **UNIX 版 :**

- `/usr/serena/vm/common/sampledb/work/dev/checkers`

- **Windows 版 :**

- `VM_Install\vm\common\sampledb\work\dev\checkers`

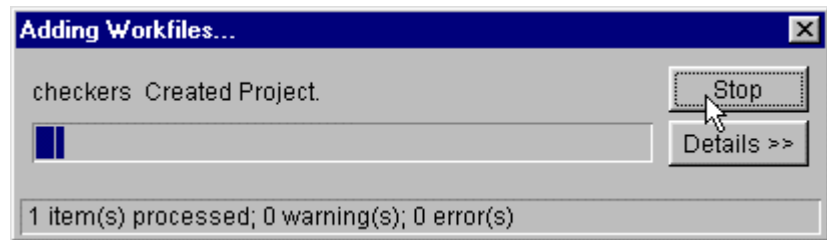
- `VM_Install` は、Version Manager をインストールした場所です。

- パスの末尾に `**` (Windows 版) または `*` (UNIX 版) が表示されていることを確認します。

4 プロジェクトリーダーから各ファイルに Checkers アプリケーションのコンポーネントであることを示す説明を付けるように指示されているため、各アーカイブに説明を追加する必要があります。これは、次の手順に従って行います。

- 〈Description (説明)〉フィールドに「Checkers プロジェクト」と入力します。
 - 〈Use description for all (このコメントをすべてに適用)〉チェックボックスを選択します。
- 5 Checkers のファイルを含むフォルダには Client と Server という 2 つのサブディレクトリが含まれているため、サブディレクトリの作業ファイルを含めるためのオプションなど、残りのデフォルトオプションはそのままにしておきます。これにより、選択された作業ファイルディレクトリ内の各サブディレクトリごとに自動的にサブプロジェクトが作成され、サブディレクトリの作業ファイルが自動的に追加されます。

【OK】をクリックすると、ファイルの追加が開始され、進行状況を示すダイアログボックスが表示されます。



進行状況を監視している間に、Version Manager により次の作業が行われます。

- Checkers プロジェクトを作成し、それをサンプルプロジェクトデータベースに追加します。
- Checkers 作業ファイルディレクトリのサブディレクトリと一致する Client および Server という 2 つのサブプロジェクトを作成します。
- Checkers ディレクトリおよびサブディレクトリ内のすべての作業ファイルについて、新しい Checkers プロジェクトにバージョン管理ファイルを追加します。各バージョン管理ファイルは 1 つのリビジョン（最初のリビジョン）を持ちます。
- それぞれのバージョン管理ファイルについて、デフォルトのアーカイブ接尾辞である -arc を使ってアーカイブを作成します。アーカイブは、サンプルプロジェクトデータベースに対して定義されているアーカイブの場所 (sampledb\archives または sampledb\archives) に作成されます。このアーカイブの場所内に、Version Manager によって新しい Checkers ディレクトリが作成され、Checkers 作業ファイルディレクトリと同じ階層構造でアーカイブが格納されます。

- 新規 Checkers プロジェクトの作業ファイルの場所として Checkers 作業ファイルの既存の場所を割り当てます。
- 各新規アーカイブに「Checkers プロジェクト」という説明を入力します。
- 各バージョン管理ファイルの最初のリビジョンに、リビジョンのデフォルトの説明である「初期リビジョン」を入力します。

ここで学習した内容は、次のとおりです。

- 初めてプロジェクトデータベースに作業ファイルを追加する方法
- Version Manager によってバージョン管理ファイルのアーカイブが格納される場所
- サブディレクトリの作業ファイルを操作の対象に含めて、作業ファイル構造を複製したプロジェクト構造を作成する方法
- アーカイブの説明を入力する方法

作業ファイルの追加に関するメモ

- リビジョン表示部が開かれていない場合に、作成されたリビジョンに関する情報を表示するには、[View (表示)] - [Show Revisions (リビジョンを表示)] を選択します。プロジェクト表示部でプロジェクトを展開し、ファイル表示部でバージョン管理ファイルを選択します。選択されたバージョン管理ファイル内のリビジョンに関する情報が、リビジョン表示部に表示されます。
- 作業ファイルのチェックイン時の動作など、作業ファイルのアクションに関するデフォルトオプションを変更するには、[View (表示)] - [Options (オプション)] を選択し、〈Check In/Out Options (チェックイン/チェックアウトオプション)〉グループボックスで値を変更します。



詳細情報

『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』の『作業ファイルの追加』または『Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド』の『デスクトップクライアントを使用した Version Manager のセットアップ』を参照してください。

4

リビジョンの取得と表示

目的：リビジョンをロックまたはチェックアウトせずにリビジョンを取得しその内容を表示します。

リビジョンを取得すると、そのリビジョンはそのままの状態（ロックされた、またはロックされていない状態）に保たれ、読み取り専用の作業ファイルが、その時点で作業ファイルの場所として設定されている場所に作成されます。

リビジョンの表示は、基本的には取得と同じ機能で、デフォルトリビジョンの読み取り専用コピーが作成されます。表示されたリビジョンは、チェックアウトして編集することもできます。ただし、リビジョンの表示の場合、Version Manager は以下のように動作します。

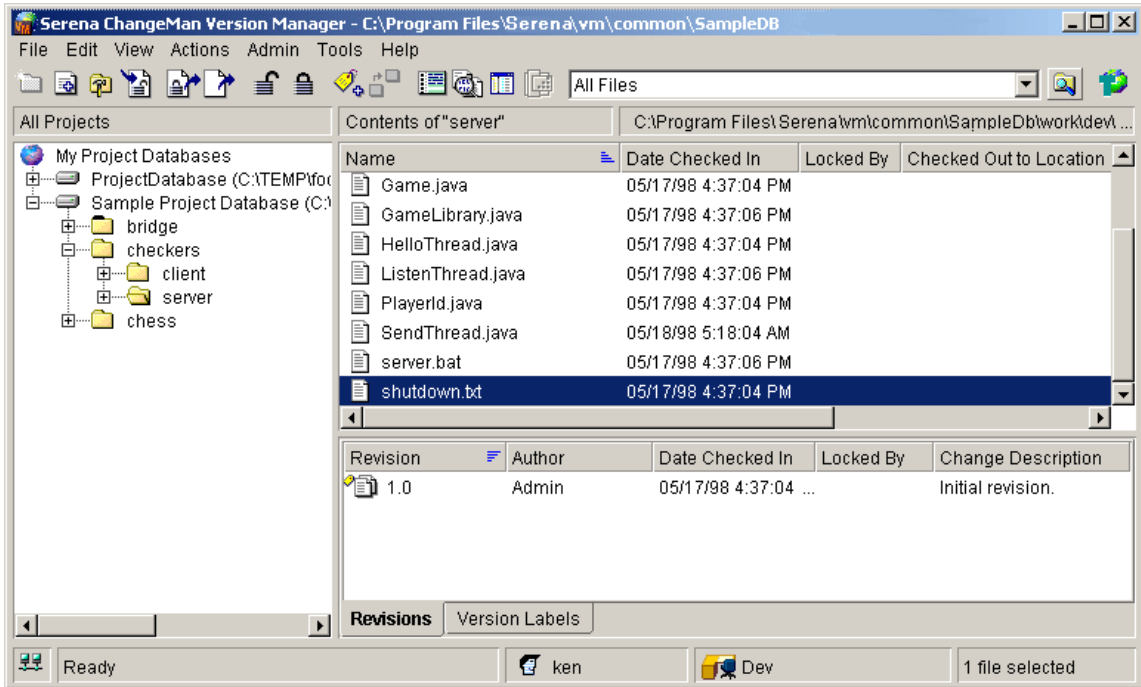
- 作業ファイルをテンポラリディレクトリにコピーします。Windows では、テンポラリディレクトリは、TEMP 環境変数で定義されています。Version Manager は、最初にファイルを表示したテンポラリディレクトリに /pvcs ディレクトリを作成します（例：/temp/pvcs）。UNIX では、これは、pvcsvmux スクリプトによって定義され、/tmp/pvcs に設定されます。
- 作業ファイルのファイルタイプに関連付けられたアプリケーションを起動し、作業ファイルを開きます。ファイルの表示には、Windows によりデフォルトで関連付けられているエディタが使用されます。または、[View (表示)] – [Options (オプション)] の選択により表示されるダイアログボックスで、表示に使用するエディタを指定することもできます。

Version Manager はファイルをロックしたり、作業ファイルの場所にファイルをコピーしたりしないため、表示している間にそのファイルに対するほかのユーザのアクセスを妨害する心配はありません。

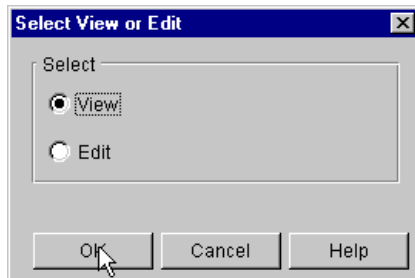
シナリオ：Checkers アプリケーションで最初に対処しなければならないのは、サーバで発生する問題です。別の開発者が問題に関する情報を「shutdown.txt」ファイルに記録しているため、コードを変更する前にこのファイルを取得して読む必要があります。「shutdown.txt」作業ファイルは、オペレーティングシステムの Server サブディレクトリに格納されているため、「shutdown.txt」のバージョン管理ファイルは、Version Manager の Server サブプロジェクトに存在します。

「shutdown.txt」の最新リビジョンを取得するには、以下の操作を行います。

- 1 Checkers プロジェクトを展開し、Server サブプロジェクトを選択します。以下で示すように、「shutdown.txt」バージョン管理ファイルがファイル表示部に表示されます。



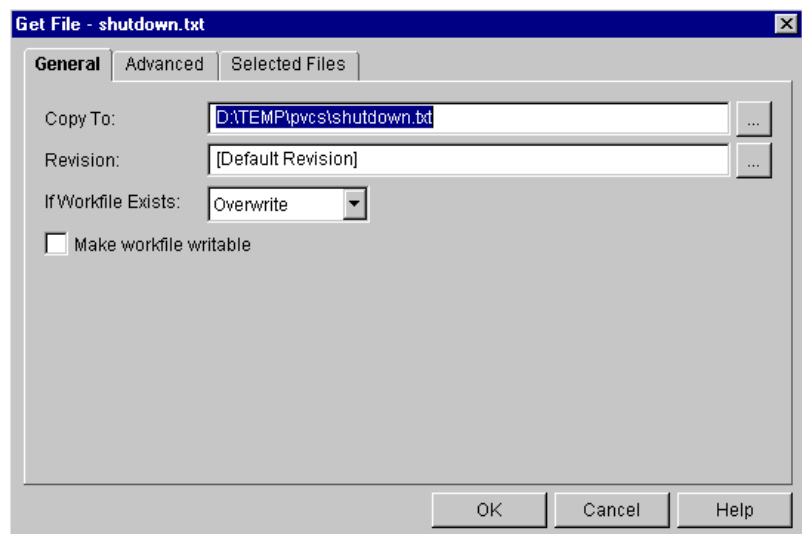
- 2 「shutdown.txt」ファイルをダブルクリックします。[View (表示)] または [Edit (編集)] ダイアログボックスが表示されます。





注記 ダブルクリックに関する動作は、[View (表示)] – [Options (オプション)] を選択して表示される [Applications (アプリケーション)] ダイアログボックスでの設定により変更されている場合があります。〈Default Double-Click Action (ダブルクリック時のデフォルトアクション)〉オプションで、「Ask (表示 / 編集の選択)」、「View File (ファイルの表示)」、「Edit File (ファイルの編集)」のいずれかを選択できます。デフォルトの設定は「Ask (表示 / 編集の選択)」です。

- 3 〈View (表示)〉を選択して【OK】をクリックします。[Get File (取得 : ファイル)] ダイアログボックスが表示されます。



ここで、〈Copy To (コピー先)〉フィールドに定義されているパスは、システムで定義されているテンポラリディレクトリと、Version Manager により自動的に作成されるディレクトリ名の組み合わせです。

- 4 ほかのフィールドの値は変更せず、【OK】をクリックします。これによりデフォルト設定が保持され、Version Manager によって以下が行われます。
- 〈Revisions (リビジョン)〉フィールドで指定されたリビジョンの読み取り専用コピーを取り出して、システムで定義されているテンポラリディレクトリの下のディレクトリにコピーします。
 - テキストファイルに関連づけられたエディタ (または [View (表示)] – [Options (オプション)] で定義されたエディタ) を使用して、読み取り専用の作業ファイルを開きます。

これでファイルの内容を確認できます。

5 内容を確認したら、テキストエディタを終了してファイルを閉じます。

ここで学習した内容は、次のとおりです。

- リビジョンの読み取り専用コピーを取り出して表示する方法
- Version Manager によってリビジョンの読み取り専用コピーが作成される場所

リビジョン取得に関するメモ

- デフォルトでは、リビジョンを取得すると、Version Manager によってファイルの一時的な読み取り専用コピーが取り出されます。このファイルは、システムで定義されているテンポラリディレクトリの下での pvcs ディレクトリに作成されます。
- ファイルを編集する場合は、単に取得するのではなく、ファイルをロックしてチェックアウトする必要があります。
- [Actions (アクション)] - [Get (取得)] を選択するとファイルを取得できますが、Version Manager から単にエディタでファイルを開いて、ファイルを表示または編集 (ファイル表示部でバージョン管理ファイルをダブルクリックするか、[Edit (編集)] メニューまたはコンテキストメニューから [View (表示)] または [Edit (編集)] を選択) することができます。



詳細情報

『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』の『リビジョンの取得』を参照してください。

5 リビジョンのチェックアウトと編集

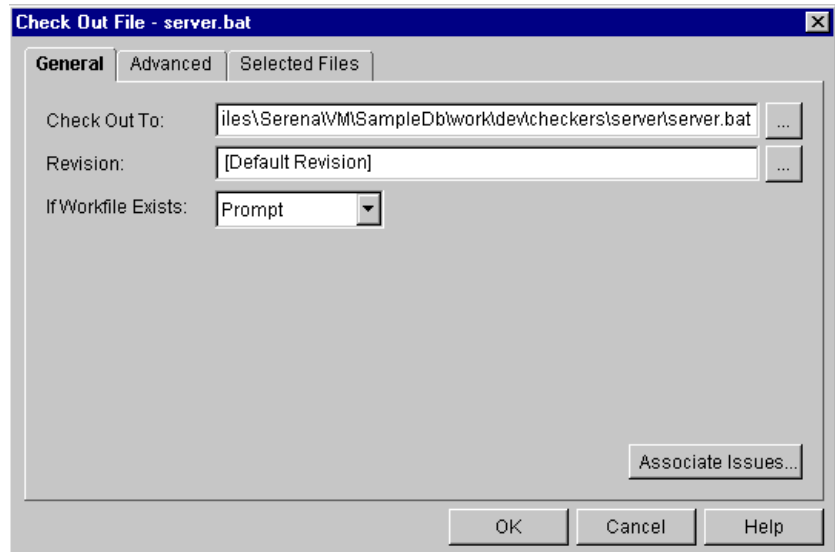
目的: リビジョンをチェックアウトして自動的に開き、適切なエディタで編集します。

リビジョンをチェックアウトすると、Version Manager により、あなたのユーザ ID でリビジョンがロックされます。通常、あなたが変更をチェックインするか、リビジョンのロックを解除するまで、ほかのユーザは変更した作業ファイルをチェックインできません。この唯一の例外は、ブランチ開発でリビジョンに対しユーザが多重ロックを使用できるように管理者がプロジェクトを設定した場合です。

シナリオ: 「shutdown.txt」ファイルには有用な情報が含まれていなかったため、バッチファイルをチェックアウトして、それに含まれるサーバコマンドに問題があるかどうかをチェックすることにしました。これもサーバファイルであるため、このファイルも Server サブプロジェクトに格納されているはずですが。

バッチファイルをチェックアウトして編集するには、次の操作を行います。

- 1 まだ展開されていない場合は、Checkers プロジェクトを展開し、Server サブプロジェクトを選択します。ファイル表示部に、必要な「server.bat」ファイルが表示されます。
- 2 ファイル表示部で、「server.bat」バージョン管理ファイルをダブルクリックします。
- 3 プロンプトで [Edit (編集)] を選択し、【OK】をクリックします。[Check Out (チェックアウト)] ダイアログボックスが表示されます。



- 4 ほかのフィールドの値は変更せず、【OK】をクリックします。デフォルト設定が保持され、Version Manager によって以下が行われます。
 - 「server.bat」ファイルの書き込み可能なコピーを取り出して、〈Check Out To (チェックアウト先)〉フィールドに示されたパスにそれをコピーします。
 - あなたのユーザ ID でリビジョンをロックします。
 - 「server.bat」の書き込み可能なコピーをテキストエディタで開き、ファイルの内容を編集できるようにします。
- 5 ファイル内で chess と記述されているいくつかの箇所を checkers に変更する必要があるため、これを変更してファイルを保存します。

ここで学習した内容は、次のとおりです。

- ファイルをロックしてチェックアウトする方法
- エディタでファイルを開く方法

リビジョンのチェックアウトに関するメモ

- デフォルトでは、リビジョンをチェックアウトすると、Version Manager によってそのリビジョンがロックされ、作業ファイルの書き込み可能なコピーが提供されます。
- [Actions (アクション)] - [Check Out (チェックアウト)] を選択するとファイルをチェックアウトできますが、Version Manager から単にエディタでファイルを開いて、ファイルを表示または編集 (ファイル表示部でバージョン管理ファイルをダブルクリックするか、[Edit (編集)] メニューまたはコンテキストメニューから [View (表示)] または [Edit (編集)] を選択) することもできます。



詳細情報

『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』の『リビジョンのチェックアウト』を参照してください。

6

作業ファイルのチェックイン

目的：変更した作業ファイルをチェックインします。

作業ファイルをチェックインすると、Version Manager によってそれがアーカイブに格納され、リビジョンが作成されます。作業ファイルのチェックインは、すでにリビジョンをロックしている場合にのみ行うことができます。

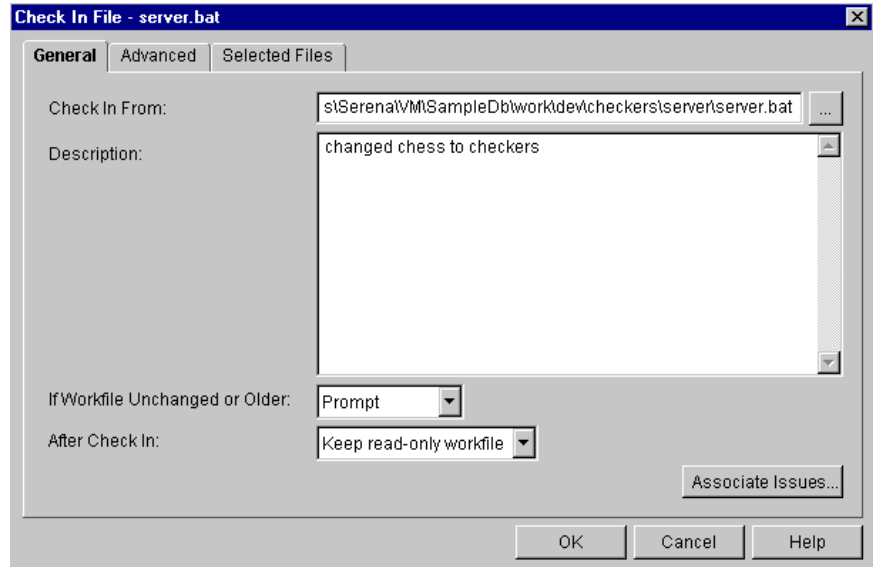
シナリオ：「server.bat」の問題を解決したので、変更をアーカイブします。これを行うには、Version Manager に作業ファイルをチェックインする必要があります。

「server.bat」をチェックインするには、以下の操作を行います。

- 1 まだ開かれていない場合は、Checkers プロジェクトを展開し、Server サブプロジェクトを選択します。
- 2 バージョン管理ファイル「server.bat」を選択します。このファイルは以下の図に示すように、ロックアイコンが表示されています。

 SendThread.java	05/18/98 5:18:04 AM
 server.bat	05/17/98 4:37:06 PM ken
 shutdown.txt	05/17/98 4:37:04 PM

- 3 バージョン管理ファイルを右クリックして [Check In (チェックイン)] を選択します。[Check In (チェックイン)] ダイアログボックスが表示されます。
- 4 <Description (説明)> フィールドに「Chess から Checkers に変更」と入力して、加えた変更に関する情報を追加します。



- 5 ほかのフィールドの値は変更せず、【OK】をクリックします。デフォルト設定が保持され、Version Manager によって以下が行われます。
 - <Check In From (チェックインするファイル)> フィールドに示されている場所から「server.bat」をチェックインします。
 - 「server.bat」作業ファイルの読み取り専用コピーを保持します。
 - 作業ファイルは削除せず、リビジョンのロックも保持しません。
 - リビジョンに説明を追加します。

ここで学習した内容は、次のとおりです。

- ファイルをチェックインして、バージョン管理ファイルの新しいリビジョンを作成する方法
- 新規リビジョンの変更内容について説明を入力する方法

作業ファイルのチェックインに関するメモ

- サブディレクトリ内の作業ファイルを含む、作業ファイルのディレクトリ全体を一度にチェックインできます。
- [Check In (チェックイン)] ダイアログボックスの [Advanced (詳細)] タブを使用して、強制的ブランチなどのより高度なチェックインアクションを実行できます。



詳細情報

『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』の『アイテムのチェックイン』を参照してください。

リビジョンの確認

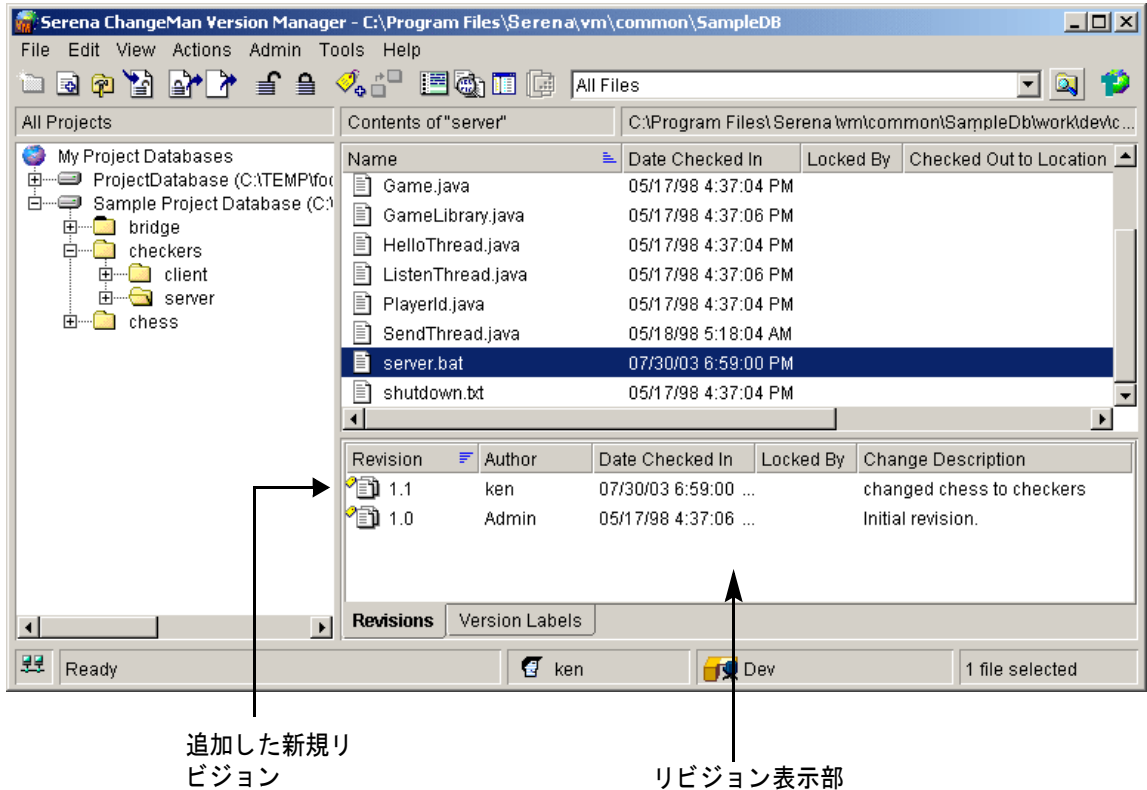
目的：リビジョン表示部の内容を表示して、バージョン管理ファイルに新規リビジョンが含まれていることを確認します。

シナリオ：作業ファイルをチェックインした後で、アーカイブに保存された変更を確認します。

変更を確認するには、以下の操作を行います。

- 1 まだ開かれていない場合は、Checkers プロジェクトを展開し、Server サブプロジェクトを選択します。

- Version Manager デスクトップの右下隅にリビジョン表示部が開かれていない場合は、[View (表示)] – [Show Revisions (リビジョンを表示)] を選択します。次のようなリビジョン表示部が表示されます。



- 「server.bat」バージョン管理ファイルを選択します。アーカイブに追加したリビジョンが、入力した変更に関するコメントとともに表示部内に表示されます。

ここで学習した内容は、次のとおりです。

リビジョン表示部の内容を表示して、リビジョン情報を確認する方法

コマンドラインインターフェイスの作業

このセクションでは、コマンドラインインターフェイスを使ってサンプルプロジェクトデータベースファイルでの作業を行います。作業するファイルは、[46 ページの「サンプルプロジェクトデータベースとシナリオについて」](#)で説明されているサンプルプロジェクトデータベースで提供されているものと同じファイルです。しかし、コマンドラインインターフェイスはプロジェクトやプロジェクトデータベースを認識しないため、以降の演習では、デスクトップクライアントで作成したプロジェクトデータベース内のファイルをコマンドラインインターフェイスを使って変更する方法を示します。

注記 [46 ページの「デスクトップクライアントでの作業」](#)のセクションをすでに完了している場合は、`sampledb\archives\checkers\server` ディレクトリの内容を削除してから以降の手順に進んでください。

サンプルプロジェクトファイルとシナリオについて

デフォルトでは、Version Manager をインストールすると、サンプルプロジェクトデータベースが次の場所にインストールされます。

- **UNIX 版** : `/usr/serena/vm/common/sampledb`
- **Windows 版** : `VM_Install\vm\common\sampledb`
`VM_Install` は、Version Manager をインストールした場所です（たとえば `d:\program files\serena`）。

デフォルトのインストール場所を変更すると、サンプルプロジェクトデータベースは Version Manager インストールディレクトリの下位にインストールされます。

サンプルプロジェクトデータベースの場所には、Chess、Checkers、および Bridge という 3 つのゲーム用のサンプルファイルが格納されます。Chess および Bridge プロジェクトのファイルのみがアーカイブに保管されています。Checkers のファイルはアーカイブに保管されていません（これはこのセクションの演習で行います）。また、新規アプリケーションの開発時に開発者が実行する基本的なタスクもいくつか実行していきます。

このセクションの演習では、次のように想定します。

- あなたは、コンピュータゲームを設計する大企業の開発者です。あなたのタスクは新しいゲーム、Checkers での作業を開始することです。
- 管理者は Version Manager デスクトップクライアントで次の作業を行って、開発中のサンプルゲーム用のプロジェクトデータベースをすでにセットアップしています。

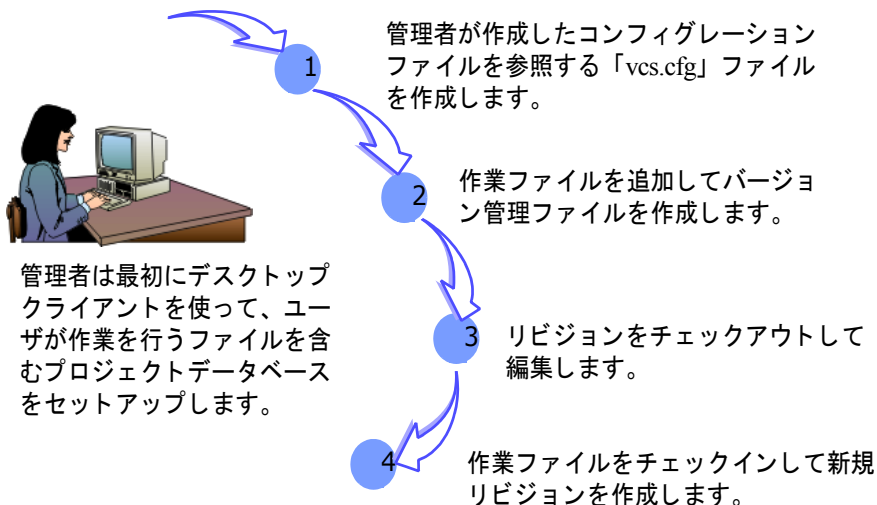
- Checkers プロジェクトのアーカイブの場所を作成しました。
- コマンドラインインターフェイスからアーカイブにアクセスできるように、プロジェクトデータベースのログインソースに HOST を追加しました。

これから、コマンドラインインターフェイスを使って Checkers のファイルをアーカイブします。

コマンドラインインターフェイスにおけるユーザのワークフロー

Version Manager のコマンドラインインターフェイスを使ってユーザが実行する最も基本的なタスクを次の図に示します。コマンドラインインターフェイスはプロジェクトやプロジェクトデータベースを認識しないため、このワークフローは、55 ページのデスクトップクライアントのワークフローとはかなり異なります。コマンドラインインターフェイスを使用する場合は、アーカイブに対して直接作業を行います。次のセクションの番号が振られた演習は、このワークフローに従って行います。

ユーザとして、以下の操作を行います。



1 「vcs.cfg」ファイルの作成

目的：「vcs.cfg」ファイルを作成します。

「vcs.cfg」ファイルは、ディレクティブを記述した ASCII テキストファイルです。これらのディレクティブは、Version Manager のコマンドのアーカイブに対する動作をコントロールします。コマンドラインから Version Manager を使用するには、次のいずれかを行う必要があります。

- 作業ファイルディレクトリ（ファイルのチェックイン元およびチェックアウト先のディレクトリ）内に「vcs.cfg」ファイルを作成します。
- デスクトップクライアントで定義されたプロジェクトデータベースのコンフィグレーションファイルの名前と場所を指定する `vcscfg` 環境変数を設定します。

シナリオ：管理者はすでに Version Manager を使用して新規プロジェクトデータベースをセットアップしています。管理者はプロジェクトデータベースをセットアップするときに、あなたが開発を担当することになった新しい Checkers アプリケーションのアーカイブディレクトリと作業ディレクトリも作成しました。

あなたは主にコマンドプロンプトから作業を行うため、Version Manager コマンドラインインターフェイスを使ってファイルのチェックインとアーカイブからのチェックアウトを行います。これを行うには、まず「vcs.cfg」ファイルを作成し、それを適切な作業ディレクトリにコピーする必要があります。

「vcs.cfg」ファイルを作成するには、以下の作業を行います。

- 1 テキストエディタで、次のいずれかの ASCII ファイルを作成します。

Windows 版：次の 3 行を入力します。

```
INCLUDE
    VM_Install\vm\common\sampledb\archives\basecfg.cfg
NoAccessControl
NODELETEWORK
```

`VM_Install` は、Version Manager をインストールした場所です。

UNIX 版：次の 3 行を入力します。

```
INCLUDE /usr/serena/vm/common/sampledb/archives/basecfg.cfg
NoAccessControl
NODELETEWORK
```

意味：

`INCLUDE` ディレクティブは、作業するファイルを含むプロジェクトデータベースのコンフィグレーションファイルの格納場所を指定します。このパスを判断するには、Version Manager を起動して、適切なプロジェクトデータ

ベースのプロパティを表示します。[Properties (プロパティ)] タブの <Configuration File (コンフィグレーションファイル)> フィールドに、コンフィグレーションファイルのパスがリストされます。

コンフィグレーションファイルは、アーカイブの場所を定義します。ここで作成した「vcs.cfg」は、プロジェクトデータベースのコンフィグレーションファイルを参照し、コンフィグレーションファイルではなくにアーカイブの場所が定義されているため、ここでアーカイブの場所を定義する必要はありません。



注記 コンフィグレーションファイルへのパスに空白が含まれる場合は、パスの前後に引用符を使用してください。たとえば、サンプルプロジェクトデータベースがデフォルトの場所にインストールされている場合は、次のようにパスを定義します。

```
include "c:\Program Files\Serena\vm\common\sampledb\archives\basecfg.cfg"
```

NoAccessControl ディレクティブは、サンプルプロジェクトデータベース用に定義されたアクセスコントロールデータベースを無視するように Version Manager に指示します。このディレクティブは、管理者がサンプルプロジェクトデータベースの設定を変更してこのディレクティブを禁止していない場合にのみ使用できます。このディレクティブが禁止されている場合は、コマンドラインインターフェイスの演習を行うには、サンプルプロジェクトデータベースに関連づけられたアクセスコントロールデータベースに管理者があなたのユーザ ID を追加する必要があります。通常、管理者は、ユーザがアクセスコントロールデータベース設定を無効にできないように、実際のプロジェクトデータベースではこのディレクティブを禁止します。

セキュリティのセットアップに関する詳細は、『Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド』を参照してください。

NODELETEWORK ディレクティブは、アーカイブにチェックインした作業ファイルを削除しないように Version Manager に指示します。このディレクティブは必要な場合に使用することができます。

- 2 ファイルを「vcs.cfg」として保存して、これを Server の作業ファイルの場所にコピーします。Server の作業ファイルの場所は、デフォルトでは次のいずれかのディレクトリ内になります。

- **UNIX 版 :**

```
/usr/serena/vm/common/sampledb/work/dev/checkers/server
```

- **Windows 版 :**

```
VM_Install\vm\common\sampledb\work\dev\checkers\server
```

`VM_Install` は Version Manager をインストールした場所です。

このディレクトリ内の全ファイルのアーカイブが
`\vm\common\sampledb\archives\checkers\server` に格納され
ます。

- 3 ほかのアーカイブの場所にマップされるほかの作業ディレクトリで作業を行う場合は、これらのディレクトリについて追加の「`vcs.cfg`」ファイルを作成してください。

ここで学習した内容は、次のとおりです。

- 「`vcs.cfg`」ファイルの作成方法
- 「`vcs.cfg`」ファイルに含める情報
- 「`vcs.cfg`」ファイルの格納場所



詳細情報

『Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド』の『コマンドラインインターフェイスを使用した Version Manager のセットアップ』を参照してください。

2

作業ファイルの追加

目的：作業ファイルを初めて追加して、アーカイブ、バージョン管理ファイル、および最初のリビジョンを作成します。

シナリオ：Checkers プロジェクトの担当になったときに、ほかの開発者が書き始めたコードを受け取りました。これらのファイルは `work/dev/checkers/server` ディレクトリに置かれています。これらのオリジナルファイルを保護するために、アーカイブに作業ファイルを追加します。

作業ファイルを追加するには、以下の操作を行います。

- 1 コマンドプロンプトのウィンドウを開き、コマンドプロンプトで次の作業ファイルの場所に移動します。

- **UNIX 版：**

```
/usr/serena/vm/common/sampledb/work/dev/checkers/server
```

- **Windows 版：**

```
VM_Install\vm\common\sampledb\work\dev\checkers\server
```

`VM_Install` は Version Manager をインストールした場所です。

- 2 次のいずれかのコマンドを発行して、すべての作業ファイルをアーカイブの場所に追加します。

UNIX 版 :

```
put /usr/serena/vm/common/sampledb/archives/checkers/server/*.*
```

Windows 版 :

```
put VM_Install\vm\common\sampledb\archives\checkers\server(*.*)
```



注記 パスに空白が含まれる場合は、パスの前後に引用符を使用してください。たとえば、サンプルプロジェクトデータベースがデフォルトの場所にインストールされている場合は、次のようにパスを定義します。

```
put "C:\Program Files\Serena\vm\common\sampledb\archives\checkers\server(*.*)"
```

- 3 プロンプトで、「checkers プロジェクト」と入力し、Ctrl+Z を押して、最初のアーカイブに説明を割り当てます。
- 4 同じ説明を使う各プロンプトで、「Y」を入力して ENTER を押します。

Version Manager によって以下が行われます。

- 各作業ファイルごとに 1 つのアーカイブを作成し、各アーカイブの説明として「checkers プロジェクト」と入力します。
- 各アーカイブの最初のリビジョンを作成し、各リビジョンの説明として「初期リビジョン」と入力します。
- Version Manager で定義されたものと同じアーカイブ接尾辞 (-arc) を新規アーカイブに付加して、デスクトップクライアントまたはコマンドラインインターフェイスからアーカイブにアクセスできるようにします。

ここで学習した内容は、次のとおりです。

- 初めて作業ファイルを追加する方法
- 初めて作業ファイルを追加したときに Version Manager によって作成されるアーカイブの説明を入力する方法

コマンドラインインターフェイスに関するメモ

- コマンドラインインターフェイスから作業ファイルとして追加したバージョン管理ファイルに Version Manager デスクトップクライアントでアクセスするには、最初にアーカイブをデスクトップクライアントにインポートする必要があります。アーカイブをインポートすると、Version Manager によってバージョン管理ファイルのアイコンがデスクトップクライアントに作成され、バージョン管理ファイルとアーカイブの間の関連づけが確立されます。

**詳細情報**

『Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド』の『コマンドラインインターフェイスを使用した Version Manager のセットアップ』または『Serena

ChangeMan Version Manager コマンドラインリファレンスガイド』の『Put』を参照してください。

3 リビジョンのチェックアウト

目的：リビジョンをチェックアウトして編集します。

リビジョンをチェックアウトすると、Version Manager により、あなたのユーザ ID でリビジョンがロックされます。通常、あなたが変更をチェックインするか、リビジョンのロックを解除するまでは、ほかのユーザは変更した作業ファイルをチェックインできません。この唯一の例外は、管理者がブランチ開発のために多重ロックを使用可能にした場合です。

シナリオ：Checkers プロジェクトでの作業を開始するために、「CheckersServer.html」ファイルにアクセスする必要があります。このファイルには、Checkers アプリケーションに対して以前に加えられた変更に関する情報が含まれています。また、このファイルの内容を変更しなければならない可能性もあるため、リビジョンをロックする必要もあります。これを行うには、ファイルの最新リビジョンをロックしてチェックアウトする必要があります。

「CheckersServer.html」をチェックアウトするには、以下の操作を行います。

1 次の Checkers 作業ファイルの場所に移動します。

■ **UNIX 版：**

```
/usr/serena/vm/common/sampled/ work/dev/checkers/server
```

■ **Windows 版：**

```
VM_Install\vm\common\sampl edb\work\dev\checkers\server
```

VM_Install は Version Manager をインストールした場所です。

2 「get -l CheckersServer.html」と入力します。

Version Manager によってファイルの最新バージョンが取り出されて、あなたの HOST ID を使ってリビジョンがロックされ、作業ファイルが作業ディレクトリにコピーされます。

ここで学習した内容は、次のとおりです。

ファイルをロックしてチェックアウトする方法



詳細情報

『Serena ChangeMan Version Manager コマンドラインリファレンスガイド』の『Get』を参照してください。

4

リビジョンのチェックイン

目的：変更した作業ファイルをチェックインします。

作業ファイルをチェックインすると、Version Manager によって変更が作業ファイルのアーカイブに格納され、新しいリビジョンが作成されます。作業ファイルをチェックインするには、リビジョンがロックされた状態である必要があります。多重ロックを使用できるように管理者がプロジェクトを設定している場合を除いて、リビジョンをロックしたユーザのみが、その新規バージョンをチェックインできます。

シナリオ：「CheckersServer.html」ファイルを表示していくつかの変更を加えたあとで、変更をチェックインします。これを行うには、Version Manager に作業ファイルをチェックインする必要があります。

「CheckersServer.html」をチェックインするには、次の操作を行います。

1 次の Checkers 作業ディレクトリに移動します。

■ **UNIX 版：**

```
/usr/serena/vm/common/sampled/ work/dev/checkers/server
```

■ **Windows 版：**

```
VM_Install\vm\common\sampldb\work\dev\checkers\server
```

VM_Install は Version Manager をインストールした場所です。

2 「put CheckersServer.html」と入力します。

Version Manager はファイルをそのアーカイブにチェックインした後、あなたの HOST ID によるロックを解除します。あなたが加えた変更を含むファイルがアーカイブの次のリビジョンになり、ほかのユーザもこれにアクセスできるようになります。これらのアーカイブを Version Manager デスクトップクライアントにインポートすると、アーカイブした変更をレビューできます。詳細は、[74 ページの「リビジョンの確認」](#)を参照してください。

ここで学習した内容は、次のとおりです。

ファイルをチェックインする方法



詳細情報

『Serena ChangeMan Version Manager コマンドラインリファレンスガイド』の『Put』を参照してください。

第 3 章

Version Manager の活用

はじめに	86
デスクトップクライアントの使用方法	86
Version Manager 5.3/6.0 での作業 プロジェクトルート	91
コマンドラインインターフェイスの使用	92
プロジェクトコマンドラインインターフェイス (PCLI) の使用	92
Version Manager IDE クライアントの使用	93
Version Manager Web クライアントの使用	95
WebDAV Server の使用	95
Meritage の使用	96

はじめに

この章では作業環境に合わせて Serena ChangeMan Version Manager を最大限に活用する方法を紹介します。

Version Manger は、リモートからの作業、スクリプトによるプロセスの自動化、または開発環境内からのソース管理など、ユーザに必要な機能を備えています。

デスクトップクライアントの使用方法

Version Manager デスクトップクライアントは、管理者とユーザの両者に役立つ非常に広範な機能を提供します。

プロパティの参照

プロジェクトデータベース、プロジェクト、サブプロジェクト、またはバージョン管理ファイルなど、任意のアイテムのプロパティ（属性）をデスクトップクライアントで確認できます。確認できるプロパティのタイプは、選択されたアイテムによって異なります。

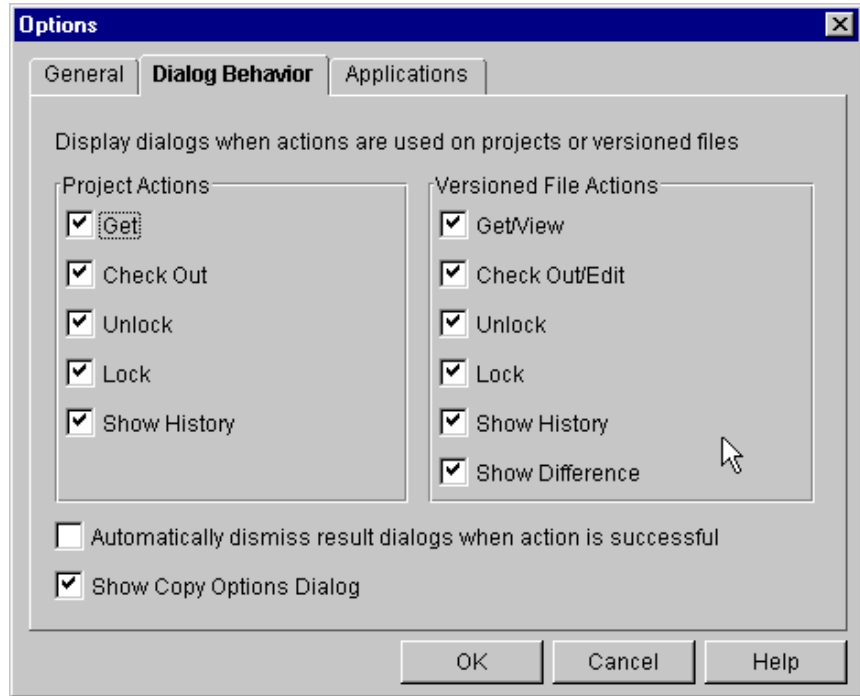
アイテムのプロパティを確認するには、アイテムを右クリックして〈プロパティ〉を選択します。プロパティの詳細については、『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』を参照してください。



注記 バージョン 5.3/6.0 のプロパティも参照できます。

ダイアログボックスの無効化

1 つ以上のダイアログボックスを無効に（表示されないように）するには、[表示] - [オプション] を選択し、次に示されている [ダイアログボックス] タブを選択します。



ダイアログボックスのオプションの設定に関する詳細については、『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』を参照してください。

リビジョン表示部での更新履歴の表示

リビジョン表示部からは、バージョン管理ファイルの完全な履歴にすばやくアクセスできます。リビジョン表示部には、バージョン管理ファイルの各リビジョンについて、作成者、最後にチェックインされた日付、そのリビジョンをロックしたユーザ、入力した変更に関するコメントが表示されます。また、バージョンラベル、プロモーショングループ、およびブランチも（存在する場合は）表示されます。

リビジョン表示部を以下に示します。

Revision	Author	Date Checked In	Locked By	Change Descripti ...
1.*				
1.0	Admin	5/18/98 03:37 PM		Initial revision.
1.1	Admin	5/18/98 04:36 PM		Added constructo ...
1.2	Admin	5/18/98 04:49 PM		Modified messag ...
1.3	Admin	5/18/98 05:03 PM		Changed the regi ...
1.2.1.*				

Revisions Version Labels Promotion Groups

リビジョン表示部を表示するには、[表示] - [リビジョンを表示] を選択します。

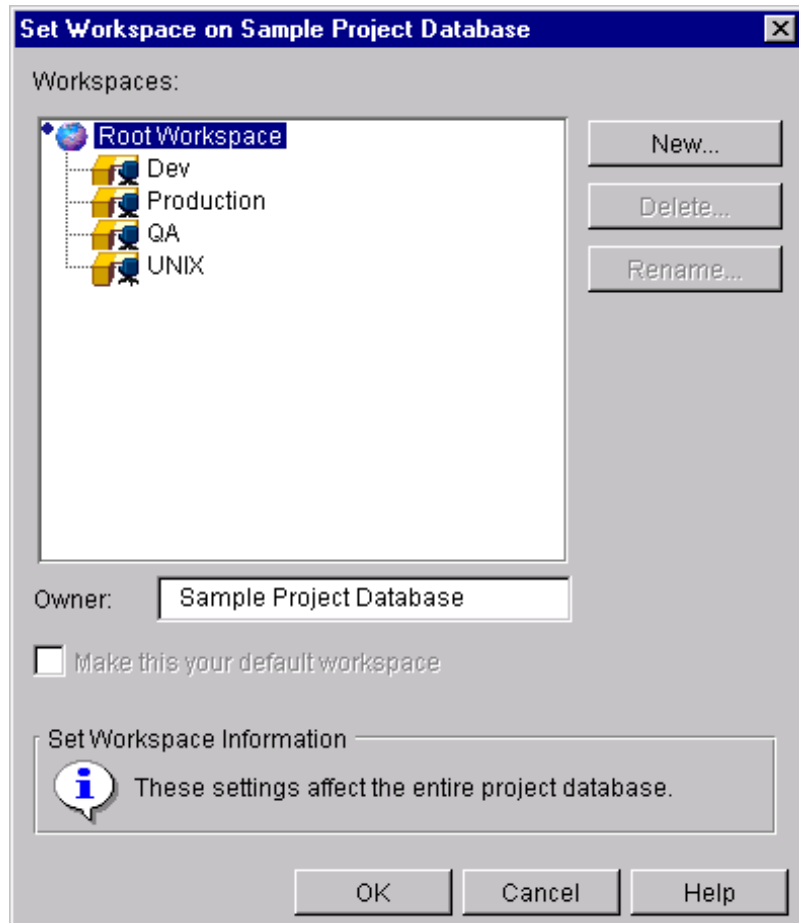
リビジョン表示部の詳細は、『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』を参照してください。

ワークスペースを使用したドライブの変更

作業設定をカスタマイズ

複数ユーザが共有するプロジェクトデータベースで作業を行う場合は、ワークスペースを使って各ユーザまたは各ユーザグループ用に作業環境をカスタマイズすることができます。たとえば、社内の全員が同じアーカイブを使用する場合に、品質保証のエンジニアは Z:¥ または /home/build/work などのドライブで作業を行い、開発エンジニアは Y:¥ または /home/test/work などの別のドライブで作業を行う場合は、各グループ用に別個のワークスペースをセットアップできます。

ワークスペースの詳細は、『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』を参照してください。



サブプロジェクトの使用によるファイルの整理

作業ファイルディレクトリと同様にバージョン管理ファイルを編成

サブプロジェクトを使用すると、オペレーティングシステム上の実際の作業ディレクトリと一致するプロジェクトデータベースを、Version Manager でセット

アップすることができます。次のサンプルプロジェクトデータベースは、この新しいサブジェクトの概念を示しています。

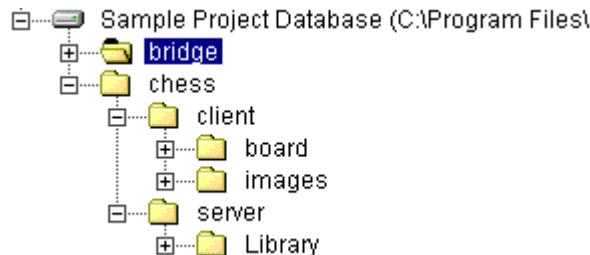


サブプロジェクトを使って、関連するバージョン管理ファイルやほかのサブプロジェクトを整理できます。プロジェクトとサブプロジェクトの詳細は、『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』を参照してください。

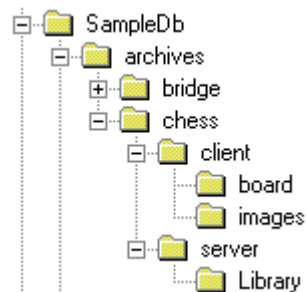
アーカイブの場所の定義

作業ファイルディレクトリと一致するようにアーカイブディレクトリを編成

アーカイブの場所は、プロジェクトデータベースを作成した場所の下位に、Version Manager によって自動的に作成されます。デフォルトでは、Version Manager によって、プロジェクトデータベースを反映したアーカイブ構造が作成されます。たとえば、これが pProject データベース構造である場合は、次のようになります。



次に、これは、該当するアーカイブディレクトリ構造になります。



プロジェクトデータベースのアーカイブ構造ではネストされたディレクトリがサポートされているため、プロジェクトデータベースとアーカイブの場所に作業ファイルディレクトリとまったく同じ構造を使用できます。デフォルトでは、Version Manager によって構造が自動的に作成されます。

プロジェクトデータベースの作成とアーカイブの場所の定義に関する詳細は、『Serena ChangeMan Version Manager 管理者ガイド』を参照してください。

複数プロジェクトの選択

Version Manager は、プロジェクトデータベースでの複数プロジェクトの選択、および 5.3/6.0 プロジェクトでの複数のフォルダの選択をサポートしています。同じプロジェクトまたはプロジェクトデータベースの下にある場合は、プロジェクト表示部で複数のプロジェクトまたはフォルダを選択することができます。5.3/6.0 プロジェクトルートでは、複数のプロジェクトを選択することはできません。

複数のプロジェクトまたはフォルダを選択するには、Shift キーを押したままで、連続して表示されているプロジェクトまたはフォルダをクリックします。隣り合っていない複数のプロジェクトまたはフォルダを選択するには、Ctrl キーを押したままでクリックします。

複数のプロジェクトまたはフォルダが選択されると、各プロジェクトまたはフォルダに含まれるすべてのファイルがファイル表示部に表示されます。プロジェクトまたはフォルダ名を示すヘッダ行が、ファイルを含むプロジェクトまたはフォルダごとに表示され、その下にそこに含まれるファイルが表示されます。ファイルを再帰的に表示するフィルタが有効（[表示] - [フィルタ] - [再帰的に表示]）になっている場合は、サブプロジェクトとそこに含まれるファイルもすべて表示されます。

ファイル表示部内では、ファイルのサブセットを選択し、アクションを実行できます。選択したファイルは、同じ親プロジェクト / フォルダを持つ必要はありません。複数のプロジェクト選択の詳細は、『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』を参照してください。

Version Manager 5.3/6.0 での作業 プロジェクトルート

Version Manager 5.3/6.0 プロジェクトルートでの作業時に、Version Manager の機能のサブセットを実行することができます。Version Manager 5.3/6.0 プロジェクトルートに関する詳細については、『Serena ChangeMan Version Manager ユーザガイド』を参照してください。

コマンドラインインターフェイスの使用

プロジェクトコマンドラインインターフェイスを使用すると、Version Manager デスクトップクライアントおよびコマンドラインインターフェイスを使って、プロジェクトデータベースとプロジェクトを操作できます。詳細は次のセクションの『プロジェクトコマンドラインインターフェイスの使用』を参照してください。

コマンドラインインターフェイスはアーカイブに対して直接動作します。このため、ワークスペース、プロジェクト、およびプロジェクトデータベースなどの、コマンドラインインターフェイスに存在しないアイテムに関連する機能はサポートされていません。PCLI と組み合わせてコマンドラインインターフェイスを使用すれば、そのような機能を実行できます。

デスクトップクライアントとコマンドラインインターフェイスの両方からアクセスするアーカイブで同じデフォルトのアーカイブ拡張子テンプレートを使用するためには、どちらを使ってアーカイブを変更する場合でも、同じコンフィグレーションファイルを使用する必要があります。これに関しては、このセクションで説明します。

プロジェクトコマンドラインインターフェイス (PCLI) の使用

Version Manager では、プロジェクトコマンドラインインターフェイス (PCLI) により、プロジェクトデータベースおよびプロジェクトに関する作業を、Version Manager デスクトップクライアントに加えて、コマンドラインを使用して実行することができます。以下は実行できる作業の例です。

- プロジェクトデータベース、プロジェクト、ワークスペースの作成
- 作業ファイルの場所、アーカイブの場所、コンフィグレーションファイルの設定
- 現在の作業ファイルの場所、アーカイブの場所、コンフィグレーションファイルの名前と場所の取得
- プロジェクトデータベース、バージョン管理ファイル、複数の項目の属性の一覧表示
- プロジェクトへの作業ファイルの追加
- プロジェクトへのアーカイブのインポート

ワークスペースのパス

PCLI プロジェクトコマンドでは、ワークスペースを指定できます。たとえば、プロジェクトのワークファイルの場所はどのワークスペースが設定されているかに応じて変わります。そのため、ワークファイルの場所を取得するためにワークスペースを指定しなくてはならないことがあります。デフォルトはユーザのデフォルトワークスペースです。

直接実行とバッチ実行

- 直接実行 PCLI コマンドは、コマンドラインに直接コマンドを入力して、一度に 1 つずつ実行することができます。
- バッチ実行 複数のコマンドを使用して繰り返し行う操作がある場合は、一連の PCLI コマンドを実行する PCLI スクリプトを作成すると、1 つのコマンドを入力するだけで、スクリプト内のすべてのコマンドを実行できます。

PCLI でのコマンドラインインターフェイスの使用

コマンドラインインターフェイス (CLI) で提供されているコマンドと組み合わせ、PCLI で提供されているコマンドを使用できます。PCLI は、プロジェクトのパスを使用してファイルを識別し、CLI は、作業ファイルの場所とアーカイブの場所の両方を使用してファイルを識別します。PCLI の使用法の詳細は、『Serena ChangeMan Version Manager PCLI ユーザガイド & リファレンス』を参照してください。

Version Manager IDE クライアントの使用

Version Manager IDE クライアントにより、さまざまな統合開発環境 (IDE) からの Version Manager プロジェクトへのアクセスが可能になります。この IDE クライアントの使用により、ファイルのアーカイブへのチェックインやアーカイブからのチェックアウト、バージョンラベルの割り当て、レポートの生成などの Version Manager 機能を、開発用アプリケーションを終了することなく実行することができます。

Version Manager IDE クライアントは、Microsoft Visual C++、Microsoft Visual Basic、Microsoft Visual InterDev、Sybase PowerBuilder、Macromedia、Allaire ColdFusion Studio、Microsoft FrontPage などの IDE で使用することができます。サポートされる機能は、各 IDE ごとに異なります。詳しくは、『Serena ChangeMan Version Manager IDE クライアント操作ガイド』を参照してください。

Version Manager における IDE クライアントプロジェクトの作業

IDE からではなく、Version Manager デスクトップクライアントから Version Manager IDE クライアントプロジェクトに対する作業を行う場合は、次のガイドラインに従ってください。

- ファイルのチェックイン、チェックアウト、ロック、ロック解除、バージョンラベルの割り当て、および強制ブランチを行うことができます。これらの変更は、ご使用の IDE からプロジェクトを開いたときに使用可能になります。
- 使用している IDE から、新しい Version Manager プロジェクトおよびサブプロジェクトを作成し、その後、開発プロジェクトを新しい Version Manager プロジェクトに関連付けることができます。
- IDE クライアントプロジェクトの作業ファイルの場所を変更することはできません。IDE からソース管理にプロジェクトを追加するときは、そのプロジェクトファイルの場所が Version Manager 作業ファイルの場所となります。

開発アプリケーションでの作業

開発アプリケーションで次の機能を実行した場合は、Version Manager デスクトップクライアントで IDE クライアントプロジェクトを含まれたプロジェクトデータベースを開いて、変更を表示させることができます。

- 新規プロジェクトの追加
- 新規ファイルの追加
- 取得、チェックイン、チェックアウト、チェックアウトの取り消し
- バージョンラベルの割り当て、名前の変更、削除
- リビジョン番号の増加
- 強制ブランチ

Version Manager Web クライアントの使用

Version Manager Web クライアントは、Version Manager の オプションの Web ブラウザインターフェイスで、Version Manager の管理者が VM Server をインストールして構成すると、使用可能になります。Version Manager Web クライアントを使用すると、Version Manager プロジェクトデータベース、およびバージョン 5.3/6.0 のプロジェクトルートにアクセスすることができ、リビジョンの取得、ファイルのチェックインとチェックアウト、作業ファイルの追加、バージョンラベルの割り当て、ワークスペースの設定などの日常的なタスクを実行できます。

Version Manager Web クライアントを使用する場合、プロジェクトデータベースやプロジェクトルートの管理者タスクはすべて、Version Manager を使用して行う必要があります。管理タスクにはプロジェクトデータベースやプロジェクトルートの作成と構成、セキュリティの定義、プロモーションモデルの設定などがあります。

WebDAV Server の使用

WebDAV Server は、Microsoft Office や Macromedia Dreamweaver などのサポートされている WebDAV クライアントとの間でファイルのチェックアウトとチェックインを自動的に実行します。WebDAV プロトコルを実装し拡張した WebDAV Server によって、ファイルの新バージョンはそれぞれリビジョンとして Version Manager に保存されるため、作業内容を失う心配がなくなります。以前のバージョンには Version Manager デスクトップクライアントまたは Version Manager のその他のインターフェイス経由でアクセスできます。

サポートされている WebDAV クライアントを使用すると、WebDAV Server の操作対象として設定されたプロジェクトデータベースに対して次の作業を実行できます。

- ファイルの取得、チェックアウト、チェックイン、追加
- 新規プロジェクトの作成
- バージョン管理ファイルとプロジェクトの削除、コピー、移動、名前の変更

Meritage の使用

Serena ChangeMan Meritage を使用すると、文書に対する共同作業を容易に行うことができます。

Meritage では、次の作業が可能です。

- お互いの作業を表示する。
- 文書をチェックアウトする。
- チームとして文書を共同で作成する。
- 文書作成時のすべての変更履歴を表示する。
- 文書に関する通知メールを受け取る。

Meritage は、Microsoft Office Word、Excel、PowerPoint 上で動作します。Meritage をインストールすると、各アプリケーションのメニューバーの [Meritage] メニューから Meritage にアクセスできます。

Meritage は WebDAV Server を使用して Version Manager のプロジェクトデータベースレポジトリをホストします。プロジェクトデータベースには Network Places 経由でアクセスします。

Meritage の仕組みを知るには、[Meritage] メニューから Meritage のオンラインヘルプを参照してください。

索引

I

IDE クライアント、説明 9

M

Merge Tool 54
Meritage、使用 96

S

Serena
 問い合わせ先 14
Serena、問い合わせ先 16
Serena Collage Integration 10
Serena 製品
 Developer's Toolkit 10

V

vcs.cfg ファイル
 作成 78
「vcs.cfg」ファイル
 定義 78
vcscfg 環境変数 78
Version Manager
 Version Manager Web
 クライアントの使用 95
 コマンドラインインターフェイスでの使用 92
 起動 18
 デスクトップ 22
Version Manager 5.3/6.0、Version
 Manager Web クラ
 イアントの使用 95

Version Manager 5.3/6.0 プロジェクトルー
 トの作業 91
Version Manager IDE クライアント 93
Version Manager IDE
 クライアントの使用 93
Version Manager Web クライアント
 Version Manager での使用 95
 説明 9
Version Manager の起動 18

あ

アーカイブ
 アーカイブの場所の定義 90
 作成 51
 配置 54
アーカイブの場所の定義 90
アップグレード、アップグレードの延期 92
移動
 ファイル 53
 プロジェクト 53
印刷マニュアル
 購入 16
印刷マニュアル、購入 16
オープン
 サンプルプロジェクトデータベース 57
 プロジェクトデータベース 56
オンラインヘルプ
 IDE クライアント用 15
 Version Manager Web クライアント 15
 アクセス 15, 40
 コマンドラインインターフェイス 15
 操作 41
 ツールバーの使用 41
 デスクトップクライアント用 15
 目次の使用 42
オンラインマニュアル
 印刷マニュアルの購入 16

か

- 規則、表記上 15
- グラフィカルユーザインターフェイス
 - 操作 46
- 〔Results (結果)〕 ダイアログボックス 48
- 更新履歴 87
- コピー
 - バージョン管理ファイル 53
 - プロジェクト 53
- コマンドラインインターフェイス
 - Version Manager での使用 92
- コマンドラインインターフェイス、説明 9
- コンテキストメニュー 25

さ

- 再帰的フィルタ 37
- 作業ファイル
 - コマンドラインインターフェイスから追加 80
 - コマンドラインインターフェイスによるチェックイン 83
 - 追加 51, 62
 - 定義 51
 - デスクトップクライアントを使用したチェックイン 72
 - 場所 50
- 作業ファイルのチェックイン
 - コマンドラインインターフェイスを使用 83
 - デスクトップクライアントの使用 72
- 作業ファイルの追加
 - コマンドラインインターフェイスから 80
 - デスクトップクライアントから 51, 62
- 作業ファイルの場所 50, 62
- サブプロジェクト
 - 定義 49
 - ファイルの整理 89
- サンプルプロジェクトデータベース
 - インストール場所 46, 76
 - オープン 57
 - 概要 46
 - コマンドラインインターフェイスから使用 76
 - デスクトップクライアントによる操作 46
- ショートカットキー 38, 39
- ステータスバー 24

- 製品サポート 14, 16
- ソート順
 - 作業ファイルの場所の変更 37
 - 説明 37

た

- ダイアログボックス
 - 自動消去 48
 - デフォルト設定 47
 - 不使用 40
- ダイアログボックスの消去 48
- ダイアログボックスのデフォルト設定 47
- ツールバー
 - 設定 22
 - ボタン 23
- データファイルの格納場所 54
- デスクトップ 22
- デスクトップクライアント
 - 起動 18
 - 使用方法 22
 - 説明 8
 - ワークフロー 55
- デフォルトバージョン 50
- ドキュメント
 - 概要 11
 - 種類 11

は

- バージョン管理ファイル
 - アイコン 30
 - コピー 53
 - コマンドラインインターフェイスから作成した場合にデスクトップクライアントからアクセスする方法 81
 - 定義 29, 51
- 〔Version Labels (バージョンラベル)〕 タブ 34
- 非再帰的フィルタ 37
- 表記上の規則 15
- 標準メニュー 25
- ファイルの編集 70, 72
- ファイルのマージ 54

ファイル表示部
 作業 30
 説明 29
 表示のフィルタ 35
 フィルタ
 再帰的フィルタの定義 37
 使用 35
 非再帰的フィルタの定義 37
 複数プロジェクトの選択 91
 プライベートワークスペース 25
 ブランチ
 展開 35
 非表示 35
 表示 35
 ブランチバージョン 50
 プロジェクト
 アイコン 27
 移動 53
 コピー 53
 定義 27
 プロジェクトコマンドラインインターフェイス 92
 プロジェクト情報の格納場所 54
 プロジェクトデータベース
 アーカイブの場所の構造 90
 アイコン 27
 オープン 56
 構造 90
 定義 27, 48
 内容を隠す 59
 表示の展開 58
 プロジェクト表示部
 作業 28
 説明 27
 プロジェクトルート
 作業 91
 プロパティ、表示 86
 プロパティの表示 86
 [Promotion Groups (プロモーショングループ)] タブ 34
 ベースバージョン 50
 ヘッダバー 26
 変更された機能
 Merge Tool 54
 アーカイブの作成 51
 アーカイブの配置 54
 プロジェクトとファイルのコピー 53

ま

無効化、ダイアログボックス 40
 メニュー 25

ら

リビジョン
 アイコン 32
 コマンドラインインターフェイスによるチェックアウト 82
 取得 66
 デスクトップクライアントを使用した確認 74
 デスクトップクライアントを使用したチェックアウト 70
 表示 66
 編集 70
 リビジョンの確認
 デスクトップクライアントの使用 74
 リビジョンの取得 52, 66
 リビジョンのチェックアウト
 コマンドラインインターフェイスを使用 82
 デスクトップクライアントの使用 70
 ファイルのオープンと編集 72
 リビジョンの表示 52, 66
 リビジョン表示部
 更新履歴の表示 87
 説明 31
 [Version Labels (バージョンラベル)] タブ 34
 [Promotion Groups (プロモーショングループ)] タブ 34
 ルートワークスペース 60

わ

ワークスペース
 カレントワークスペースの識別 25, 60, 62
 作業ファイルの場所 50
 作業ファイルの場所の確認 62
 設定 59
 定義 50
 デフォルトバージョン 50
 ドライブの変更 88
 ブランチバージョン 50
 ベースバージョン 50
 ルートワークスペース 60

ワークスペースの設定 59

ワークフロー

 コマンドラインインターフェイス用 77

 デスクトップクライアント 55

[リビジョン] タブ 33